

P2WW-2301-01Z0

ScanSnap

Organizer

ユーザーズガイド

FUJITSU

目次

1. はじめに	1
Windows Vista をお使いの方へ.....	3
1.1. 動作環境.....	4
2. ScanSnap Organizer の使用方法	5
2.1. ScanSnap Organizer を起動します	5
2.2. 操作画面について	7
2.2.1. メニューバー(メイン画面).....	10
2.2.2. ツールバー(メイン画面).....	22
2.2.3. サムネイル表示(メイン画面).....	24
2.3. オフィス機能について.....	26
2.4. ScanSnap Organizer ビューアについて	27
2.4.1. メニューバー(ScanSnap Organizer ビューア)	28
2.4.2. ツールバー(ScanSnap Organizer ビューア).....	30
3. ScanSnap Organizer の各種機能	32
3.1. ScanSnap と連携します	32
3.1.1. 準備.....	32
3.1.2. 読み取り	34
3.1.3. ファイルの整理.....	36
3.2. コピー／移動します	39
3.3. 検索可能な PDF に変換します	40
3.4. 検索可能な PDF ファイルへの自動変換を設定します.....	51
3.5. ファイルを検索します	53
3.6. フォルダを割り当てます	54
3.6.1. フォルダの割り当て	54
3.6.2. 割り当てたフォルダの解除.....	55
3.7. ファイルをインポートします	56
3.8. ファイルをエクスポートします	57
3.9. ファイルをメールに添付して送ります	58
3.10. 印刷します	60
3.10.1 サムネイル表示できるファイルのみを印刷する場合	60
3.10.2 サムネイル表示できないファイルを含めて印刷する場合	63
3.10.3 ScanSnap Organizer ビューアからファイルを印刷する場合	65

3.11. 削除します	66
3.12. ファイル名を変更します	67
3.13. ファイルを編集します	69
3.13.1 ファイルを ScanSnap Organizer ビューアで表示します	69
3.13.2 ページを回転します	69
3.13.3 ページを削除します	70
3.13.4 ページを移動します	71
3.13.5 ページを挿入します	72
3.14. ScanSnap の設定画面を表示します	73
3.15. アップデートします	74
付録 1. 検索可能な PDF について	76
お問い合わせについて.....	79
索引	80

1. はじめに

このたびは、「ScanSnap ^{オーガナイザー} Organizer」をご利用いただき、誠にありがとうございます。

ScanSnap Organizer は、ScanSnap 両面カラーレスキャナ装置を利用して、読み取った PDF ファイルおよび JPEG ファイルを一覧表示して整理するプログラムです。

主な機能は、以下のとおりです。

- ScanSnap で読み取った画像を、ファイルを開くことなく閲覧したり、目的別にフォルダを作成して、ファイルを整理したりすることができます。また、複数ページの PDF ファイルは、サムネイル表示上で、ページをめくって画像を確認することができます。
- ScanSnap Organizer ビューアで、ファイルを表示、編集（ページの回転、削除、移動、挿入など）することができます。
- ファイルをメールに添付したり、印刷したりすることができます。
- PDF ファイル内の文字列を検索できます。また、ScanSnap を利用して読み取った PDF ファイルを文字列検索できる PDF ファイルに変換することができます。

なお、本書では、ScanSnap Organizer の機能や使い方について説明しております。

正しくお使いいただくために、ご使用前に必ずお読みください。

高度な安全性が要求される用途への使用について

本製品は、一般事務用、パーソナル用、家庭用、通常の産業等の一般的用途を想定して開発・設計・製造されているものであり、原子力施設における核反応制御、航空機自動飛行制御、航空交通管制、大量輸送システムにおける運行制御、生命維持のための医療用機器、兵器システムにおけるミサイル発射制御など、極めて高度な安全性が要求され、仮に当該安全性が確保されない場合、直接生命・身体に対する重大な危険性を伴う用途（以下「ハイセイフティ用途」という）に使用されるよう開発・設計・製造されたものではありません。お客様は、本製品を必要な安全性を確保する措置を施すことなくハイセイフティ用途に使用しないでください。また、お客様がハイセイフティ用途に本製品を使用したことにより発生する、お客様または第三者からのいかなる請求または損害賠償に対しても株式会社PFUおよびその関連会社は一切責任を負いかねます。

商標および登録商標について

Microsoft、Windows、Windows Vista は米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

Adobe、Adobe ロゴ、Acrobat、および Acrobat ロゴは、Adobe Systems Incorporated (アドビシステムズ社) の商標または登録商標です。

1. はじめに

Intel、インテル、および Pentium は、Intel Corporation の登録商標です。

ScanSnap および ScanSnap ロゴは、株式会社 PFU の日本における登録商標です。

その他の社名、製品名は、一般に各社の商標または登録商標です。

商標の表記について

本書では、以下の用語について省略して記述しています。

Windows 2000	: Microsoft® Windows® 2000 Professional operating system 日本語版
Windows XP	: Microsoft® Windows® XP Professional operating system 日本語版 Microsoft® Windows® XP Home Edition operating system 日本語版
Windows Vista	: Microsoft® Windows Vista™ Home Basic operating system 日本語版 Microsoft® Windows Vista™ Home Premium operating system 日本語版 Microsoft® Windows Vista™ Business operating system 日本語版 Microsoft® Windows Vista™ Enterprise operating system 日本語版 Microsoft® Windows Vista™ Ultimate operating system 日本語版
Windows	: Windows 2000、Windows XP および Windows Vista
Internet Explorer	: Microsoft® Internet Explorer
Adobe Acrobat	: Adobe® Acrobat®

複製についてのご注意

紙幣、貨幣、政府発行の有価証券およびパスポート、公共団体や民間団体発行の免許証、許可書、公文書、私文書などの複製は違法となります。処罰の対象となりますので、おやめください。

著作権について

書籍、絵画、版画、地図、図面および写真などの著作物は、個人的にまたは家庭内のその他、これらに準ずる限られた範囲内で使用する用途以外は、権利者の許可なしに複製することはできません。

本製品の海外への持ち出しについて

本製品は、日本国内専用ですので、日本国内でご使用ください。海外における使用に関しては、当社は一切その責任を負いません。

製造元・販売元

株式会社 PFU

〒212-8563 神奈川県川崎市幸区堀川町 580 番地 (ソリッドスクエア東館)

TEL: 044-540-4538

All Rights Reserved, Copyright© PFU LIMITED 2007

本書で使用している記号について

本書では、説明中に以下の記号を使用しています。



操作するときに必要な注意事項が書かれています。必ずお読みください。



操作に関するワンポイントアドバイスが書かれています。



操作方法など関連事項を説明している箇所を示しています。

本書に記載されている画面について

画面は、改善のため予告なく変更することがあります。

また、表示された画面が、本書に記載されている画面と異なる場合は、実際の画面に従って操作してください。

Microsoft Corporation のガイドラインに従って画面写真を使用しています。

Windows Vistaをお使いの方へ

本書は Windows XP でのご使用を前提に説明しています。Windows Vista では以下の点で画面の表示が異なりますので、本書をお読みの際にはご注意ください。その他の相違点は文中の説明に従ってください。

Windows XP	Windows Vista
[My ScanSnap]フォルダ	[ScanSnap]フォルダ
[マイ ドキュメント]	[ドキュメント]

1.1. 動作環境

ScanSnap Organizer を使用するには、以下の環境が必要です。

オペレーティング システム (OS)		Windows 2000 Windows XP	Windows Vista
コンピュータ	CPU	Intel® Pentium® IIIプロセッサ 600MHz 以上(※)	Intel® Pentium® 4 プロセッサ 1.8GHz 以上(※)
	メモリ	256MB 以上(※)	512MB 以上(※)
	ディスク容量	320MB 以上の空き容量が必要	

※スキャナ装置の推奨環境以上でのご利用をお奨めします。

- 検索機能を使う場合は、Adobe Acrobat 7.0 以上が必要です。
(検索機能については、「[3.3. 検索可能な PDF に変換します](#)」(40ページ)および「[付録 1. 検索可能な PDF について](#)」(76ページ)を参照ください。)
- Windows Vista で検索機能を使う場合は、Windows Vista に対応した版数の Adobe Acrobat が必要です。Windows Vista に対応していない版数の Adobe Acrobat では、検索機能は動作保証外となります。

2. ScanSnap Organizer の使用方法

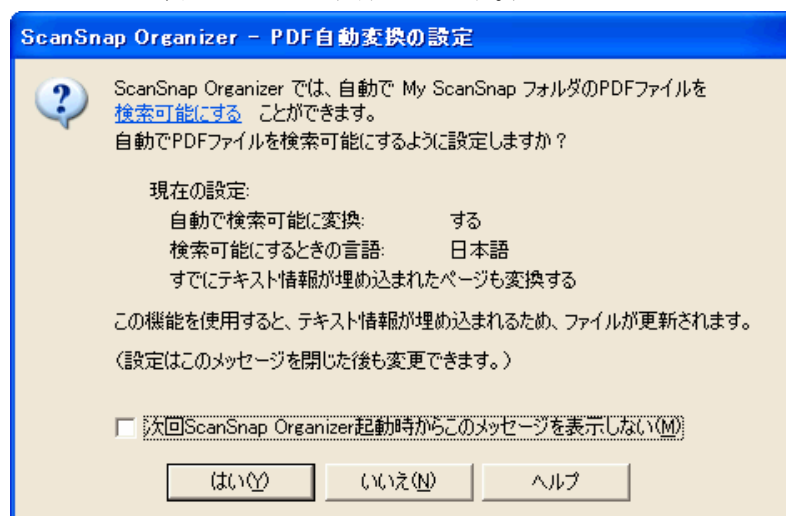
この章では、ScanSnap Organizer の使い方について説明します。

2.1. ScanSnap Organizer を起動します

1. [スタート]メニューから、[すべてのプログラム]→[ScanSnap Organizer]→[ScanSnap Organizer]を選択します。

⇒ 「PDF 自動変換の設定」画面が表示されます。

(※ 設定によっては、表示されない場合があります。)



以下の方法でも ScanSnap Organizer を起動できます。

- デスクトップ上の、「ScanSnap Organizer」のアイコン  をダブルクリックします。

2. 自動で検索可能な PDF ファイルに変換する場合は[はい]ボタンを、行わない場合は[いいえ]ボタンをクリックします。

2. ScanSnap Organizer の使用方法

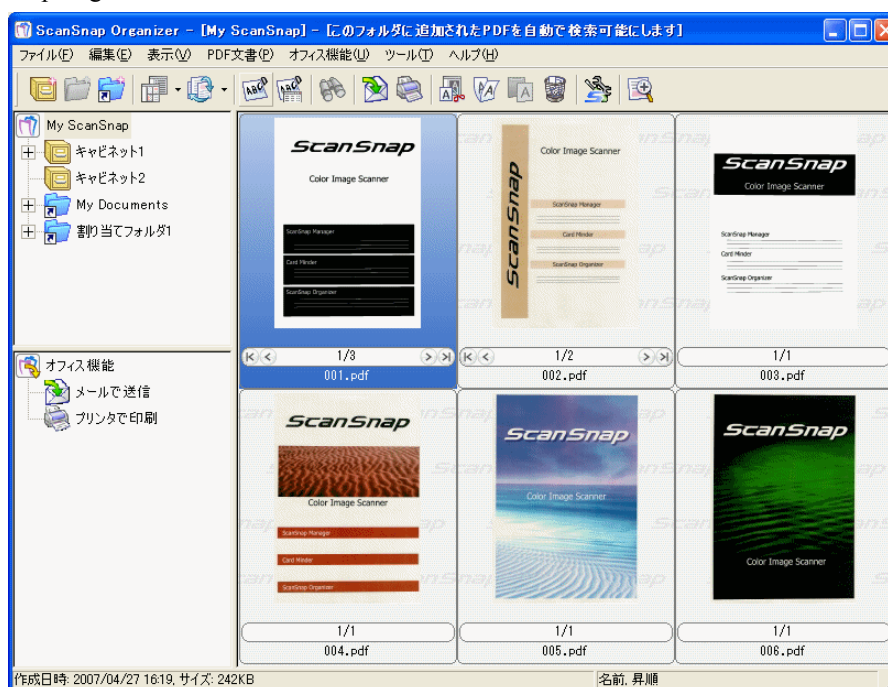


- ScanSnap Organizer には、ScanSnap で読み取ったイメージのみの PDF ファイルにテキスト情報(文字情報)を埋め込んで、検索可能な PDF に変換する機能があります。この機能には、必要な PDF ファイルだけを選択して変換する方法と、あらかじめ決められたフォルダ([My ScanSnap]フォルダ、Windows Vista の場合は[ScanSnap]フォルダ)内に追加された PDF ファイルに対して自動で変換する方法があります。前者を選択する場合は「いいえ」、後者の場合は「はい」をクリックしてください。
- 「PDF 自動変換の設定」画面は、表示させないこともできます。次回起動時からこの画面を起動させたくない場合は、「次回 ScanSnap Organizer 起動時からこのメッセージを表示しない」チェックボックスをチェックしてください。
- 「PDF 自動変換」の設定は、ログオンユーザーごとに変えられます。[My ScanSnap]フォルダ (Windows Vista の場合は[ScanSnap]フォルダ) 配下に PDF ファイルを追加したユーザーが、Windows にログオンしている間、コンピュータを使用していない時間に PDF ファイルを変換します。ログオフするまでに変換が完了しなかった場合は、同じユーザーが次に Windows にログオンしたときに再開されます。

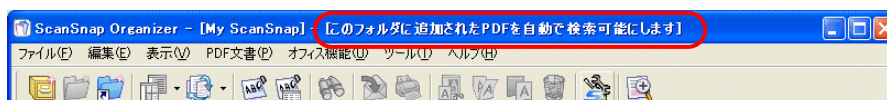


- 検索可能な PDF とはどのようなものかについては、「[付録 1. 検索可能な PDF について](#)」(76ページ)を参照してください。
- 「PDF 自動変換」の設定は、後で変更することができます。方法については、「[3.4. 検索可能な PDF ファイルへの自動変換を設定します](#)」(51ページ)を参照してください。

⇒ ScanSnap Organizer の画面が表示されます。



PDF 自動変換の設定を有効(「はい」をクリック)にすると、[My ScanSnap] フォルダ内表示中は、タイトルバーに「このフォルダに追加された PDF を自動で検索可能にします」と表示されます。



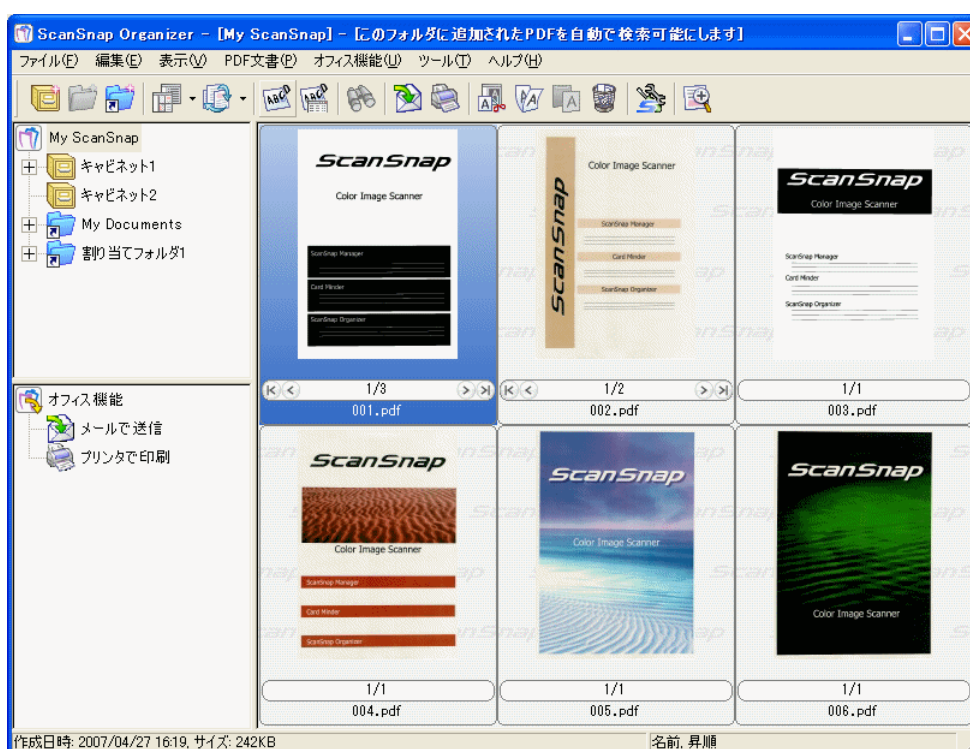
2.2. 操作画面について

ScanSnap Organizer を起動すると以下のメイン画面が表示されます。ScanSnap Organizer の操作はこの画面を使って行います。



ScanSnap Organizer ビューアについては、「[2.4. ScanSnap Organizer ビューアについて](#)」(27ページ)を参照してください。

<メイン画面>



ScanSnap Organizer の画像表示について

- ScanSnap Organizer は、画像をより早く表示するため、サムネイル表示可能な PDF ファイルに対し、キャッシュデータ(一時的に保存するデータ)を作成します。キャッシュデータは、各 PDF ファイルが保存されているフォルダ内の「.organizer」という隠しフォルダに保存されますが、誤って削除した場合、画像表示が遅くなります。キャッシュデータを削除しないよう、ご注意ください。
- CD-ROM などの書き込みできないメディア上にある PDF ファイルを表示する場合、キャッシュデータは作成されません。画像を早く表示したい場合は、いったんデータをハードディスク上にコピーし、キャッシュデータを作成してから、キャッシュデータごと CD-ROM に保存しなおしてください。
- スキャナ読み取り後、パスワード付加などの後処理が完了するまでの間、ScanSnap Organizer での表示が遅くなったり、表示されなくなったりする場合があります。後処理が完了してもファイルが表示されない場合は、[表示]→[最新の情報に更新]をクリックし、ファイル一覧の表示を最新の状態にしてください。

<サムネイル表示時>

メニューバー
ScanSnap Organizer を操作するためのメニューを表示します。

ツールバー
よく使う機能をボタンで表示します。

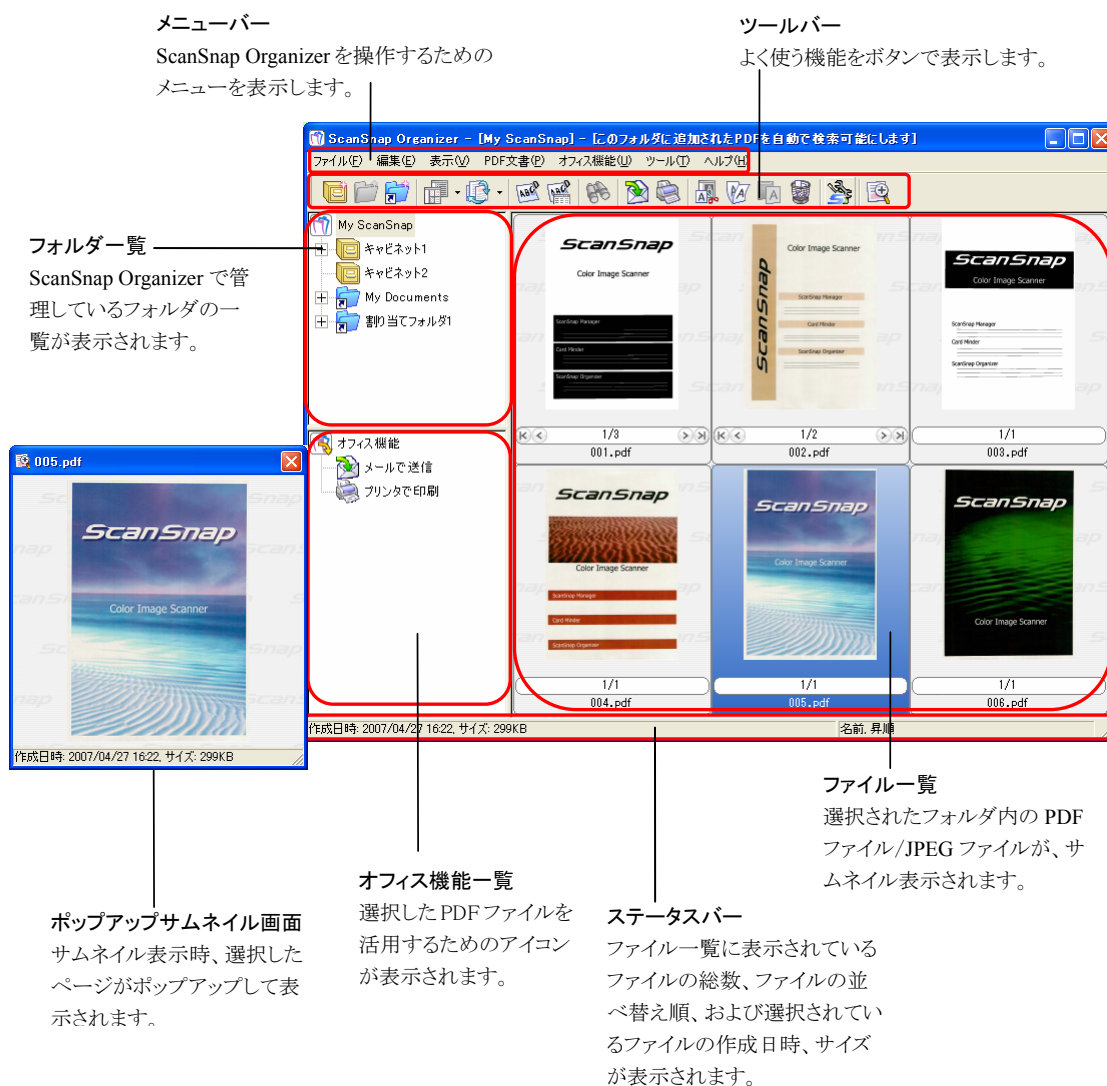
フォルダー一覧
ScanSnap Organizer で管理しているフォルダの一覧が表示されます。

オフィス機能一覧
選択した PDF ファイルを
活用するためのアイコン
が表示されます。

ステータスバー
ファイル一覧に表示されている
ファイルの総数、ファイルの並
べ替え順、および選択されてい
るファイルの作成日時、サイズ
が表示されます。

ファイル一覧
選択されたフォルダ内の PDF
ファイル/JPEG ファイルが、サ
ムネイル表示されます。

ポップアップサムネイル画面
サムネイル表示時、選択した
ページがポップアップして表
示されます。



ファイル一覧には、PDF ファイル、および JPEG ファイルの画像がサムネイル表示されます。それ以外のファイルについては、ファイルに関連付けられたアプリケーションのアイコンが表示されます。

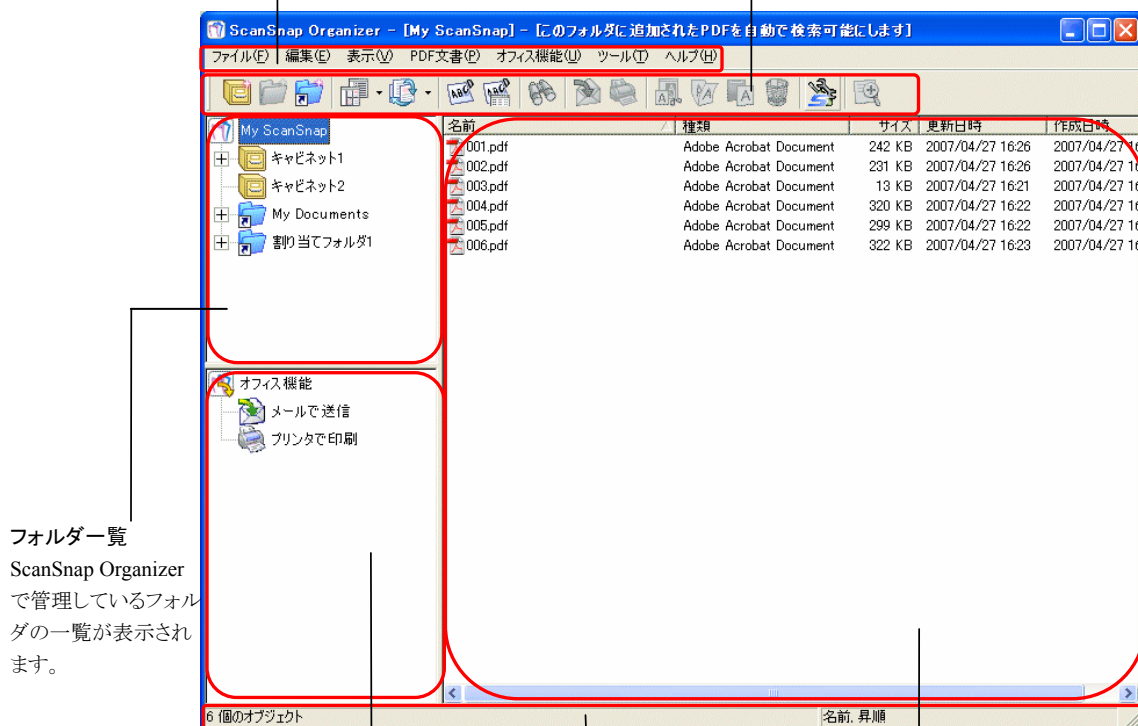
＜リスト表示時＞

メニューバー

ScanSnap Organizer を操作するためのメニューを表示します。

ツールバー

よく使う機能をボタンで表示します。



フォルダー一覧

ScanSnap Organizer で管理しているフォルダの一覧が表示されます。

オフィス機能一覧

選択された PDF ファイルを活用するためのアイコンが表示されます。

ステータスバー

ファイル一覧に表示されているファイルの総数、ファイルの並び替え順、および選択されているファイルの作成日時、サイズが表示されます。

ファイル一覧

選択されたフォルダ内のファイルが、リスト表示されます。

2.2.1. メニューバー(メイン画面)

メニューバーにある各メニューについて説明します。

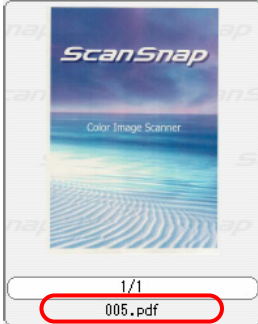
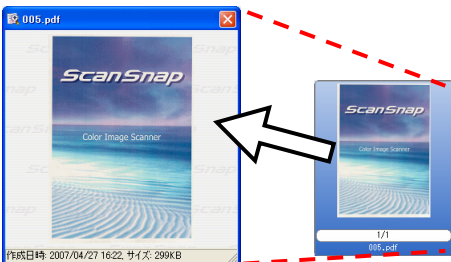
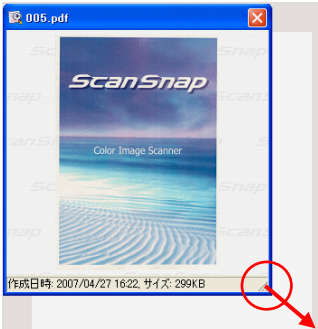
<[ファイル]メニュー>

[ファイル]メニュー	意味
ScanSnap Organizer ビューア	選択しているPDF ファイルおよび JPEG ファイルを、ScanSnap Organizer ビューアで開きます。ScanSnap Organizer ビューアでファイルを表示／編集できます。
開く	選択しているファイルを、関連付けされているアプリケーションで開きます。
印刷 <Ctrl+P>	選択しているファイルを印刷します。 (複数のファイルを同時選択して印刷することもできます。)
新規作成	キャビネット: <Ctrl+B> [My ScanSnap]フォルダの直下に、新しいキャビネットを作成します。この中に、フォルダおよびファイルを保存することができます。 フォルダ: <Ctrl+F> 新しいフォルダを作成します。この中に、ファイルを保存することができます。 ※ [My ScanSnap]フォルダの直下に新しいフォルダを作成することはできません。また、エクスプローラなどの他のアプリケーションで、[My ScanSnap]フォルダの直下に新しいフォルダを作成した場合は、ScanSnap Organizer 上では、「キャビネット」として表示されます。
フォルダの割り当て	[My ScanSnap]フォルダの直下に、任意の既存フォルダを割り当てます。 選択したフォルダ内のファイル一覧を、ScanSnap Organizer で閲覧することができます。 ※ 「オプション」-「一般設定」の画面で「My ScanSnap フォルダ」に指定されているフォルダは、指定できません。(19ページ参照) 初期設定は、[マイドキュメント]直下の[My ScanSnap]フォルダです。
割り当てたフォルダの解除	選択したフォルダの割り当てを解除します。
インポート	選択しているフォルダに、別の場所にあるファイルをコピーします。
エクスポート	選択しているファイルを、別の場所にコピーします。 ※ [My ScanSnap]フォルダへはファイルをエクスポートできません。
削除 <Delete>	選択しているファイル、フォルダ、またはキャビネットを削除します。
名前の変更 <F2>	選択しているファイル、フォルダ、キャビネット、またはフォルダの割り当ての名前を変更します。
プロパティ	選択している割り当てたフォルダの割り当て先を表示します。フォルダの割り当てを選択したときのみ、有効になります。
アプリケーションの終了	ScanSnap Organizer を終了します。

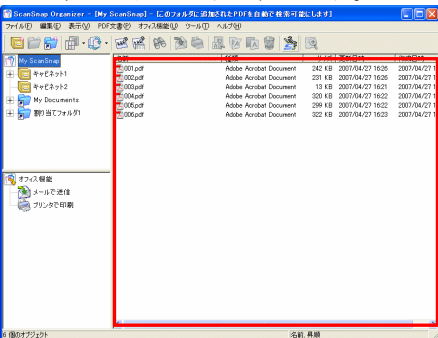
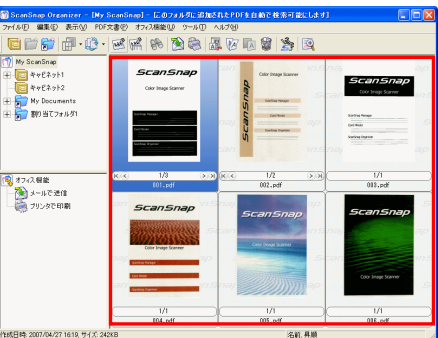
<[編集]メニュー>

[編集]メニュー	意味
元に戻す <Ctrl+Z>	直前に行った以下の操作を操作前の状態に戻します。 <ul style="list-style-type: none"> 削除(ごみ箱への移動) 名前の変更 ドラッグ&ドロップによる移動/コピー 切り取り、または貼り付け
切り取り <Ctrl+X>	選択しているファイル、フォルダ、またはキャビネットを切り取ります。
コピー <Ctrl+C>	選択しているファイル、フォルダ、またはキャビネットをコピーします。
貼り付け <Ctrl+V>	切り取り、またはコピーしたファイル、フォルダ、またはキャビネットを貼り付けます。 ※「フォルダ」を[My ScanSnap]フォルダの直下に貼り付けると、ScanSnap Organizer 上では、「キャビネット」に変わります。逆に、「キャビネット」を他の「キャビネット」や「フォルダ」内にコピー/移動すると「フォルダ」に変わります。
すべて選択 <Ctrl+A>	ファイル一覧に表示されているすべてのファイルを選択します。

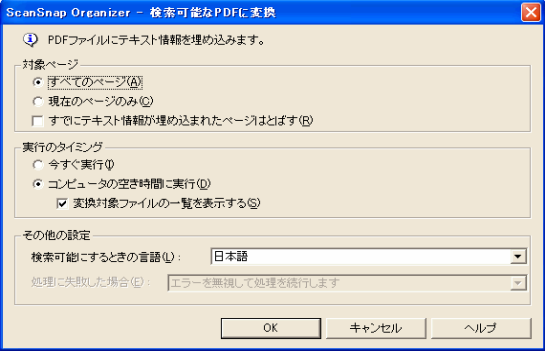
<[表示]メニュー>

[表示]メニュー	意味
ファイル名表示	チェックすると、サムネイル表示の下にファイル名を表示します。 
ポップアップサムネイル表示	チェックすると、サムネイル表示時、選択したファイルが、ポップアップサムネイル表示されます。  ポップアップサムネイル表示は、右下端をドラッグ&ドロップすることによってサイズを変えることができます。 

2. ScanSnap Organizer の使用方法

[表示]メニュー	意味
<p>リスト表示</p>	<p>ファイルの表示方法を、リスト表示に切り替えます。</p> 
<p>サムネイル表示</p>	<p>ファイルの表示方法を、サムネイル表示に切り替えます。</p> 
<p>サムネイルのサイズ</p>	<p>ファイル一覧のサムネイル表示を、大／中／小、またはトップのいずれかに変更します。</p> <p>大 : 196×196 (ピクセル) 中 : 128×128 (ピクセル) 小 : 96× 96 (ピクセル) トップ : イメージの上端の部分を表示</p>
<p>フォルダの並べ替え</p>	<p>フォルダ一覧に表示されているフォルダを、名前の昇順、または降順で並べ替えます。</p>
<p>ファイルの並べ替え</p>	<p>ファイルの表示順を、指定した要素で並べ替えます。</p> <p>名前 ファイル一覧の表示が、名前順に並べ替えられます。</p> <p>種類 ファイル一覧の表示が、ファイルの種類順に並べ替えられます。</p> <p>サイズ ファイル一覧の表示が、サイズ順に並べ替えられます。</p> <p>更新日時 ファイル一覧の表示が、更新日時順で並べ替えられます。</p> <p>作成日時 ファイル一覧の表示が、作成日時順で並べ替えられます。</p> <p>※ ScanSnap Organizer を起動しているときに追加されたファイルは、ファイル一覧の最後に追加されます。</p> <p>※ 同じ項目を選択するたびに、昇順⇄降順に切り替わります。</p>
<p>最新の情報に更新 <F5></p>	<p>フォルダ一覧およびファイル一覧の表示を、最新の情報に更新します。</p>

<[PDF 文書]メニュー>

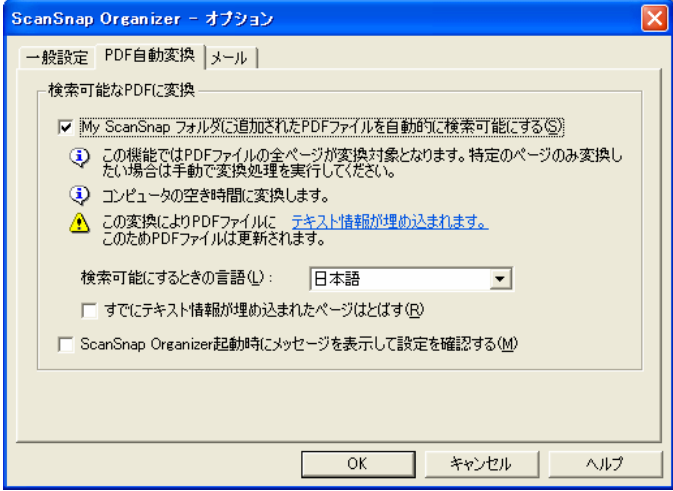
[PDF 文書]メニュー	意味
<p>検索可能な PDF に変換 —実行</p>	<p>ScanSnap で読み取った PDF ファイルを、検索可能な PDF ファイルに変換します。以下の画面で設定を行います。</p>  <ul style="list-style-type: none"> ● 対象ページ 検索可能な PDF に変換するページを選択します。 すべてのページ 選択した PDF ファイルのすべてのページを変換対象とします。 (すべてのページに対して変換処理を行うため、選択した PDF ファイルの数やページ数によっては、非常に時間がかかる場合があります。) 現在のページのみ サムネイル表示時は、現在サムネイル表示されているページのみを変換対象とします。 リスト表示時は、選択できません。 「すでにテキスト情報が埋め込まれたページはとばす」チェックボックス 検索可能な PDF ファイルに変換されるとテキスト情報が埋め込まれます。ここにチェックをすると、検索可能な PDF ファイルに変換されていないページのみを変換処理します。チェックがない場合はすでに変換されたページもすべて変換処理します。 ● 実行のタイミング いつ変換を実施するかを指定します。 今すぐ実行 [OK]ボタンを押すと同時に変換処理を開始します。 コンピュータの空き時間に実行 コンピュータの使用状況を見ながら、本機能を実行したユーザーが Windows にログオンしている間、コンピュータを使用していない時間に PDF ファイルを変換します。ログオフするまでに変換が完了しなかった場合は、同じユーザーが次に Windows にログオンしたときに再開されます。 「変換対象ファイルの一覧を表示する」チェックボックス チェックすると、[OK]ボタンを押したとき、現在、変換対象となっているファイルがリスト表示され、進行状況を確認することができます。 「コンピュータの空き時間に実行」を選択したときのみ有効です。 ● その他の設定 検索可能にするときの言語: 変換処理に用いる言語を指定します。

[PDF 文書]メニュー	意味
<p>検索可能な PDF に変換 —実行(つづき)</p>	<p>処理に失敗した場合： 変換処理に失敗した場合の対処方法を指定します。 「実行のタイミング」で、「今すぐ実行」を選択時のみ指定可能です。</p> <ul style="list-style-type: none"> - エラーを無視して処理を続行します 変換中にエラーが起きても、最後まで処理を続行します。 - 処理を中断して、続行するかどうかの確認メッセージを表示します 変換中にエラーが起きた場合、確認のメッセージが表示され、処理を一時停止します。 - 処理を停止してエラーメッセージを表示します 変換中にエラーが起きた場合、エラーメッセージが表示され、処理を停止します。 <p>※ 「コンピュータの空き時間に実行」を選択した場合は、変換中にエラーが起きても最後まで処理を続行します。</p> <p>※ フォルダ、キャビネット、または割り当てフォルダを選択して、保存されている PDF ファイルを検索可能な PDF に変換することもできます。その場合は、以下の画面が表示されます。</p> <div data-bbox="683 880 1211 1301" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> </div> <ul style="list-style-type: none"> ● 対象ページ <ul style="list-style-type: none"> すべてのページ 選択した PDF ファイルのすべてのページを変換対象とします。(すべてのページに対して変換処理を行うため、選択した PDF ファイルの数やページ数によっては、非常に時間がかかる場合があります。) 先頭のページのみ 先頭ページのみを変換対象とします。 「すでにテキスト情報が埋め込まれたページはとばす」チェックボックス 検索可能な PDF ファイルに変換されるとテキスト情報が埋め込まれます。ここにチェックをすると、検索可能な PDF ファイルに変換されていないページのみを変換処理します。チェックがない場合はすでに変換されたページもすべて変換処理します。 ● 対象ファイル <ul style="list-style-type: none"> サブフォルダの PDF ファイルも対象とする チェックすると、サブフォルダ内に保存されている PDF ファイルも変換の対象となります。ただし、My ScanSnap フォルダ、または割り当てフォルダがネットワークフォルダの場合、このチェックボックスは選択できません。

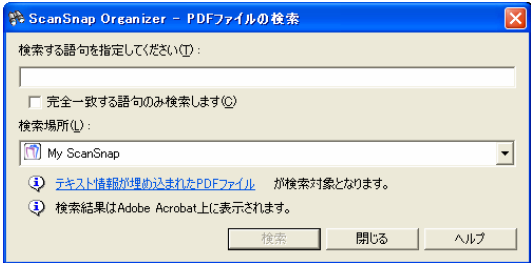
[PDF 文書]メニュー	意味
検索可能な PDF に変換 ー実行 (つづき)	<ul style="list-style-type: none"> ● 実行のタイミング <p>「コンピュータの空き時間に実行」のみです。 コンピュータの使用状況を見ながら、本機能を実行したユーザーが Windows にログオンしている間、コンピュータを使用していない時間に PDF ファイルを変換します。ログオフするまでに変換が完了しなかった場合は、同じユーザーが次に Windows にログオンしたときに再開されます。</p> <p>「変換対象ファイルの一覧を表示する」チェックボックス チェックすると、[OK]ボタンを押したとき、現在、変換対象となっているファイルがリスト表示され、進行状況を確認することができます。</p> ● その他の設定 <p>検索可能にするときの言語： 変換処理に用いる言語を指定します。</p>
検索可能な PDF に変換 ー対象ファイル一覧	<p>「検索可能にする PDF ファイルの一覧」画面が開き、現在、検索可能な PDF への変換対象となっているファイルがリスト表示され、進行状況を確認することができます。</p> <p>コンピュータの空き時間に PDF ファイルを変換する場合に、変換対象となる PDF ファイルの一覧と処理状況を確認する画面です。</p> <p>自動的に PDF ファイルを変換する場合も、この画面で処理状況を確認できます。</p> <div data-bbox="566 996 1340 1209" style="text-align: center;"> <p>メニューバー ファイル一覧 タイトルバー</p> </div> <p>メニューバー</p> <ul style="list-style-type: none"> ● ファイル <ul style="list-style-type: none"> 中止/一覧から削除: 選択しているファイルの変換を中止し、一覧から削除します。 閉じる: 検索可能にする PDF ファイルの一覧画面を閉じます。 ● 編集 <ul style="list-style-type: none"> すべて選択: ファイルをすべて選択します。 ● PDF 変換 <ul style="list-style-type: none"> 一時停止: 検索可能な PDF ファイルに変換する処理を一時停止します。一時停止すると「再開」の表示に変わります。タイトルバーには「一時停止」と表示されます。 再開: 一時停止された変換処理を再開します。再開すると「一時停止」の表示に変わります。 ● 履歴 <ul style="list-style-type: none"> 変換履歴: PDF ファイルの変換処理履歴を表示します。 ● ツール <ul style="list-style-type: none"> 表示の設定: 「状態」が「異常終了」または「対象外」のファイルを検索可能にする PDF ファイルの一覧に表示する日数を指定します。

2. ScanSnap Organizer の使用方法

[PDF 文書]メニュー	意味
検索可能な PDF に変換 ー対象ファイル一覧 (つづき)	<ul style="list-style-type: none"> ● ヘルプ <ul style="list-style-type: none"> ヘルプの表示: ヘルプを表示します。 バージョン情報: ScanSnap Organizer 「検索可能にする PDF ファイルの一覧」のバージョン情報を表示します。 <p>ファイル一覧</p> <ul style="list-style-type: none"> ● ファイル名 <ul style="list-style-type: none"> PDF ファイルの名前が表示されます。 ● フォルダ名 <ul style="list-style-type: none"> PDF ファイルが保存されているフォルダのパス名が表示されます。 ● 状態 <ul style="list-style-type: none"> 変換処理の状況が表示されます。 空き待ち : コンピュータの空きを待ち合わせ中です。 処理中 : 検索可能な PDF へ変換中です。 異常終了 : 検索可能な PDF への変換処理に失敗しました。 対象外 : 検索可能な PDF へ変換できない PDF です。 中止中 : 検索可能な PDF へ変換中に「中止」操作が行われたため、変換処理を中止中です。 停止中 : 検索可能な PDF へ変換中に「一時停止」操作が行われたため、変換処理を停止中です。停止処理が終わると空欄になります。 ● 原因 <ul style="list-style-type: none"> 「状態」が「異常終了」または「対象外」の場合、その原因が表示されます。 ● ページ数 <ul style="list-style-type: none"> 変換処理の対象となるページ数が表示されます。ただし、PDF ファイルにセキュリティ(パスワードなど)が設定されている場合、ページ数は表示されません。 ● 登録日時 <ul style="list-style-type: none"> 検索可能な PDF ファイルにする指示を行った日時が表示されます。 ● 処理終了日時 <ul style="list-style-type: none"> 変換処理の終了日時が表示されます。 <p>※ 以下のファイルは、「検索可能にする PDF ファイル一覧」画面から自動的に削除されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 検索可能な PDF に変換する処理が正常に終了したファイル ● 「状態」が「異常終了」または「対象外」で、「処理終了日時」に表示された日から、「ツール」→「表示の設定」画面で指定した日数が経過したファイル <p>※ 「検索可能な PDF ファイルの一覧」画面を最前面に表示した場合、コンピュータの空き時間でなくても、変換処理が開始されます。</p>

[PDF 文書]メニュー	意味
検索可能な PDF に変換 – 自動変換の設定	<p>ScanSnap で読み取った、My ScanSnap フォルダに追加される PDF ファイルに対して、自動的に検索可能な PDF に変換するように設定できます。</p>  <ul style="list-style-type: none"> ● 「My ScanSnap フォルダに追加された PDF ファイルを自動的に検索可能にする」チェックボックス ScanSnap で読み取った、My ScanSnap フォルダ に追加される PDF ファイルに対して、自動的に検索可能な PDF に変換を行います。 <ul style="list-style-type: none"> ※ 常に全ページに対して変換を行います。指定ページのみ変換したい場合は、チェックを外し、ファイルを選択して変換してください。 ※ この機能がオフのとき保存されたファイルは、自動変換の対象にはなりません。自動変換の対象になっていないファイルを検索可能な PDF ファイルに変換したい場合は、ファイルを選択して変換してください。 ● 検索可能にするときの言語 変換処理に用いる言語を指定します。 ● 「すでにテキスト情報が埋め込まれたページはとばす」チェックボックス 検索可能な PDF ファイルに変換されるとテキスト情報が埋め込まれます。ここにチェックをすると、検索可能な PDF ファイルに変換されていないページのみを変換処理します。チェックがない場合はすでに変換されたページもすべて変換処理します。 ● 「ScanSnap Organizer 起動時にメッセージを表示して設定を確認する」チェックボックス ScanSnap Organizer を起動したときに、自動的に検索可能な PDF に変換するかどうかを確認するメッセージを表示します。

2. ScanSnap Organizer の使用方法

[PDF 文書]メニュー	意味
検索 <Ctrl+S>	<p>PDF ファイルを検索します。</p>  <ul style="list-style-type: none">● 検索する語句を指定してください 検索する語句を指定します。● 完全一致する語句のみ検索します 指定した語句に、完全に一致する語句だけを検索する場合チェックします。● 検索場所 検索するフォルダ、キャビネット、または割り当てフォルダを指定します。<ul style="list-style-type: none">※ [検索]ボタンをクリックすると、Adobe Acrobat が起動され、検索を開始します。詳細については Adobe Acrobat のヘルプを参照してください。

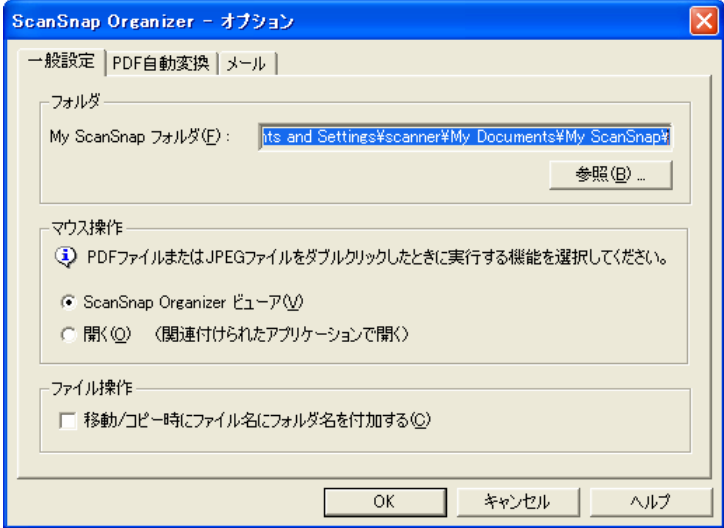
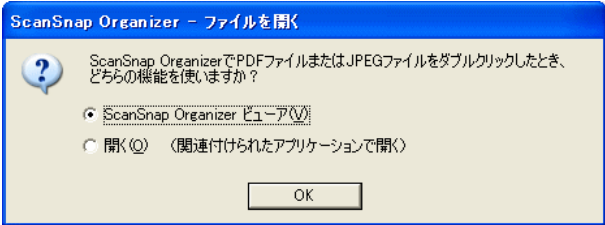


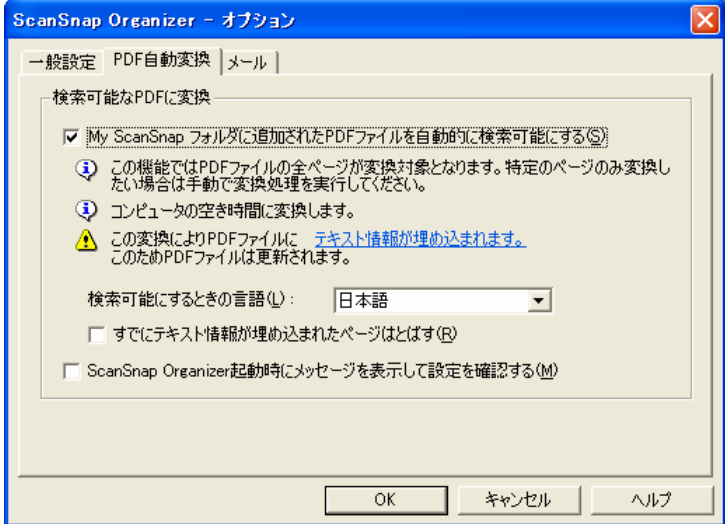
検索機能を使用するには Adobe Acrobat 7.0 以上がインストールされている必要があります。

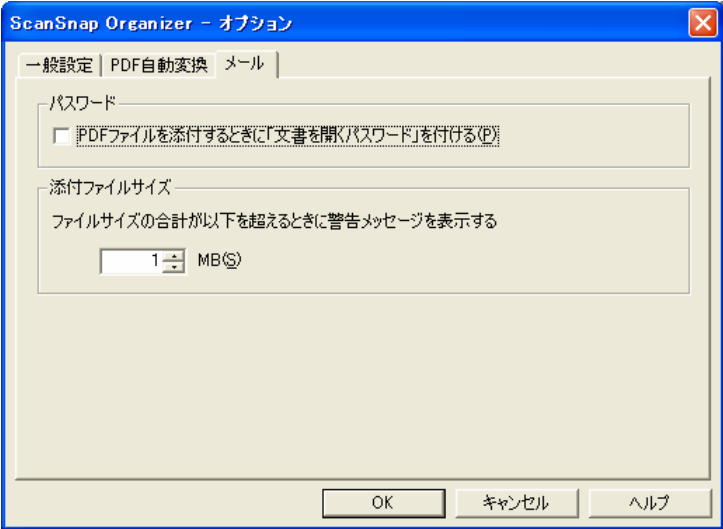
<[オフィス機能]メニュー>

[オフィス機能]メニュー	意味
メールで送信	選択しているファイルをメールに添付します。
プリンタで印刷	選択しているファイルを印刷します。

＜[ツール]メニュー＞

[ツール]メニュー	意味
オプション –[一般設定]タブ	<p>ファイル保存先指定、マウス操作、およびファイルの移動／コピー時の名称変更に関する設定を行います。</p>  <ul style="list-style-type: none"> ● My ScanSnap フォルダ： ScanSnap Organizer が起動されたときにフォルダ一覧に表示される[My ScanSnap]フォルダの場所を指定します。指定したフォルダ、およびそのサブフォルダを ScanSnap Organizer で表示・閲覧することができます。 ● 「ScanSnap Organizer ビューア」 PDF ファイルおよび JPEG ファイルをダブルクリック、またはファイルを選択して [Enter] キーを押したときに、ScanSnap Organizer ビューアで開きます。 ● 「開く（関連付けられたアプリケーションで開く）」 PDF ファイルおよび JPEG ファイルをダブルクリック、またはファイルを選択して [Enter] キーを押したときに、関連付けられているアプリケーションで開きます。 ● 「移動／コピー時にファイル名にフォルダ名を付加する」チェックボックス ファイルを移動、またはコピーしたときに、ファイル名の先頭に移動／コピー先フォルダ名を付加します。 例) 「Snap001.pdf」というファイルを、[Scan]フォルダに移動／コピーした場合 移動／コピー後のファイル名： Scan_Snap001.pdf <p>※ PDF ファイルまたは JPEG ファイルを初めてダブルクリック、またはファイルを選択して [Enter] キーを押した場合、以下の画面が表示されます。</p>  <p>実行する機能を選択すると、設定内容が[一般設定]タブの「マウス操作」に反映され、次回からは選択した機能でファイルが表示されます。</p>

[ツール]メニュー	意味
<p>オプション – [PDF 自動変換] タブ</p>	<p>ScanSnap で読み取った、My ScanSnap フォルダに追加される PDF ファイルに対して、自動的に検索可能な PDF に変換するように設定できます。</p>  <ul style="list-style-type: none"> ● 「My ScanSnap フォルダ に追加された PDF ファイルを自動的に検索可能にする」チェックボックス ScanSnap で読み取った、My ScanSnap フォルダ に追加される PDF ファイルに対して、自動的に検索可能な PDF に変換を行います。 <ul style="list-style-type: none"> ※ 常に全ページに対して変換を行います。指定ページのみ変換したい場合は、チェックを外し、ファイルを選択して変換してください。 ※ この機能がオフのとき保存されたファイルは、自動変換の対象にはなりません。自動変換の対象にならなかったファイルを検索可能な PDF ファイルに変換したい場合は、ファイルを選択して変換してください。 ● 検索可能にするときの言語： 変換処理に用いる言語を指定します。 ● 「すでにテキスト情報が埋め込まれたページはとばす」チェックボックス 検索可能な PDF ファイルに変換されるとテキスト情報が埋め込まれます。ここにチェックをすると、検索可能な PDF ファイルに変換されていないページのみを変換処理します。チェックがない場合はすでに変換されたページもすべて変換処理します。 ● 「ScanSnap Organizer 起動時にメッセージを表示して設定を確認する」チェックボックス ScanSnap Organizer を起動したときに、自動的に検索可能な PDF に変換するかどうかを確認するメッセージを表示します。















[ツール]メニュー	意味
オプション - [メール]タブ	<p>ファイルをメールに添付し送信する際の環境を設定します。</p>  <p>「オプション」画面の[メール]タブの構成は、以下のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 「PDF ファイルを添付するときに「文書を開くパスワード」を付ける」チェックボックス チェックすると、PDF ファイルをメール添付する場合に「メールで送信 - パスワードの設定」画面が表示され、パスワードを設定できます。 <ul style="list-style-type: none"> ※ 「PDF ファイルを添付するときに「文書を開くパスワード」を付ける」チェックボックスをチェックした場合でも、すでに「文書を開くパスワード」、電子署名が設定されているファイルを選択しているときは、パスワードは付けられません。 ※ パスワードが付けられる PDF ファイルは ScanSnap で作成された PDF ファイルのみです。 ● 「ファイルサイズの合計が以下を超えるとときに警告メッセージを表示する」 ファイルサイズの合計が設定値より大きい場合に警告メッセージを表示します。 1～10M バイトの範囲で設定できます。 <ul style="list-style-type: none"> ※ 警告メッセージが出ても添付して送信は可能です。使用環境によりますが、添付ファイルのサイズは 2M バイト超えないことを推奨します。
ScanSnap の設定	ScanSnap の設定画面を表示します。



<[ヘルプ]メニュー>

[ヘルプ]メニュー	意味
ヘルプの表示	ScanSnap Organizer のヘルプを表示します。
バージョン情報	ScanSnap Organizer のバージョン情報を表示します。
オンラインアップデート	ScanSnap Organizer を最新版にアップデートします。 ※ インターネットを使用できる環境で、Internet Explorer がインストールされている必要があります。

2.2.2. ツールバー(メイン画面)

ツールバーにある各ボタンについて説明します。

ボタンと名称	意味
 キャビネットの作成	[My ScanSnap] フォルダ 直下に、新しいキャビネットを作成します。
 フォルダの作成	キャビネットの下に、新しいフォルダを作成します。 ※ [My ScanSnap]フォルダ の直下に作成することはできません。 また、エクスプローラなどの他のアプリケーションで、[My ScanSnap]フォルダの直下に新しいフォルダを作成した場合は、ScanSnap Organizer 上では、「キャビネット」として表示されます。
 フォルダの割り当て	[My ScanSnap]フォルダの直下に、任意の既存フォルダを割り当てます。 選択したフォルダ内のファイル一覧を、ScanSnap Organizer で閲覧することができます。 ※ [ツール]→[オプション]→[一般設定]タブで「My ScanSnap フォルダ」に指定されているフォルダは、指定できません。(19ページ参照) 初期設定は、[マイドキュメント]下の[My ScanSnap]フォルダです。
 表示モードの切り替え	ファイル一覧の表示方法を、「サムネイル表示」⇄「リスト表示」に切り替えます。
 ファイルの並べ替え	ファイル一覧に表示されているファイルを、名前順、種類順、サイズ順、更新日時順、または作成日時順に並べ替えます。 ※ ScanSnap Organizer を起動しているときに追加されたファイルは、ファイル一覧の最後に追加されます。 ※ アイコンをクリックするたびに、マークされた項目の昇順、降順を切り替えて並べ替えます。また、プルダウンリストの同じ項目を選択するたびに、昇順⇄降順に切り替わります。
 検索可能なPDFに変換	選択されているPDFファイル、または選択されたフォルダ、キャビネット、割り当てフォルダに保存されているPDFファイルを検索可能なPDFファイルに変換します。
 対象ファイル一覧	現在、検索可能なPDFへの変換対象となっているファイルがリスト表示され、進行状況を確認することができます。
 検索	PDFファイルを検索します。
 メールで送信	選択しているファイルをメールに添付します。
 プリンタで印刷	選択しているファイルを印刷します。
 切り取り	選択しているファイル、フォルダ、またはキャビネットを切り取ります。
 コピー	選択しているファイル、フォルダ、またはキャビネットをコピーします。
 貼り付け	切り取り/コピーした、ファイル/フォルダ/キャビネットを貼り付けます。 ※ 「フォルダ」を[My ScanSnap]フォルダの直下に貼り付けると、ScanSnap Organizer 上では、「キャビネット」に変わります。
 削除	選択しているファイル、フォルダ、またはキャビネットを削除します。

ボタンと名称	意味
 ScanSnap の設定	ScanSnap の設定画面を表示します。
 ポップアップサムネイル表示	サムネイル表示時、選択されたファイルをポップアップサムネイル表示します。

2.2.3. サムネイル表示(メイン画面)

<サムネイル(大)／(中)／(小)の場合>

サムネイル
ファイルの画像を縮小表示します。

表示しているページが検索可能なページの場合に表示されます。
パスワードが設定されている場合に表示されます。
電子署名が設定されている場合に表示されます。

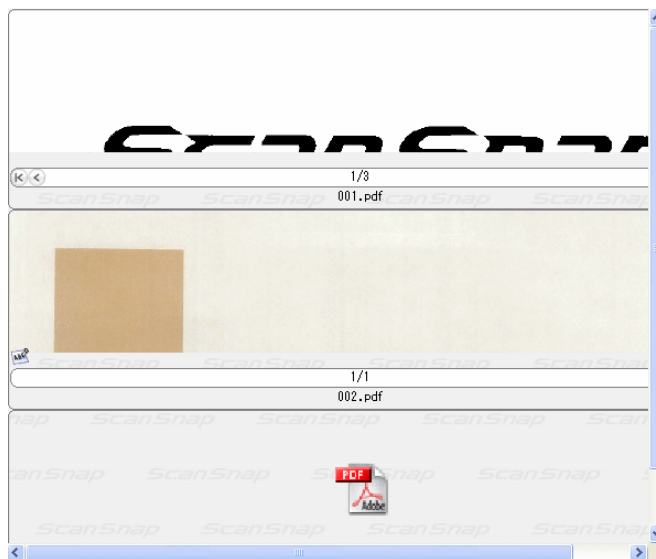
サムネイル表示
<現在表示されている画面のページ／全体のページ数>が表示されます。
数値を入力することにより、任意のページを表示することができます。
(サムネイルのサイズが小のときは、表示されません。)

[ページ送り]ボタン
ファイルが複数ページの場合、
ページを送って任意のページを
サムネイル表示することができます。

ページ数表示

ファイル名

<トップサムネイルの場合>





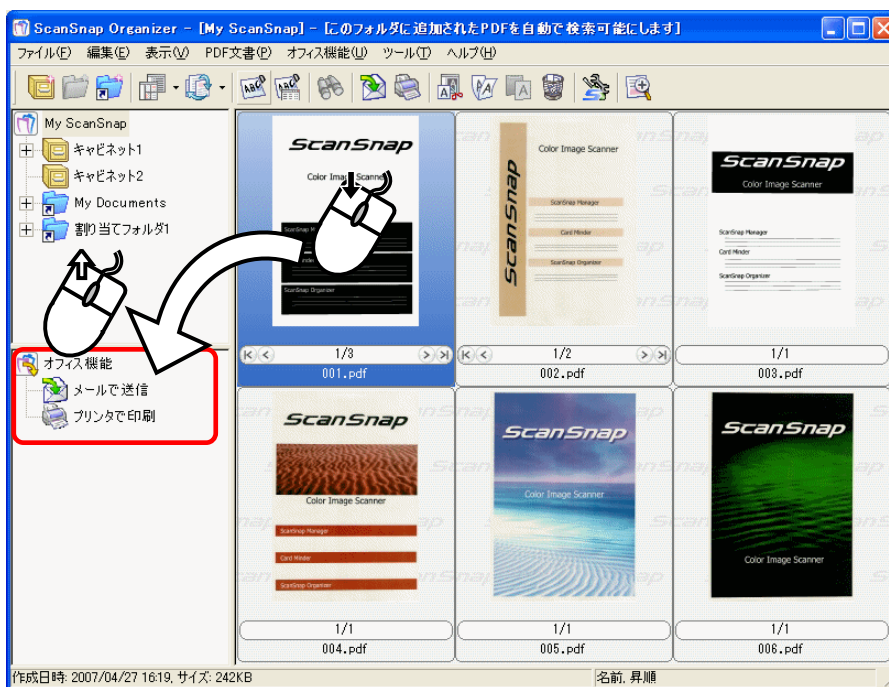
- PDF ファイル、および JPEG ファイルの画像がサムネイル表示されます。それ以外のファイルについては、ファイルに関連付けられたアプリケーションのアイコンが表示されます。
- パスワードを設定した PDF ファイルは、セキュリティ保護のため、サムネイル表示することができません^{*}。この場合、アイコンが表示され、左下にカギのマーク(🔒)が表示されます。
※ただし、ScanSnap Manager が起動中で、[スキャンボタンの設定]→[ファイル形式]タブ→[オプション]の「固定パスワードを使用します」で設定したパスワードが、PDF ファイルに設定されているパスワードと一致する場合は、サムネイル表示することができます。また、「権限パスワード」が設定されている場合は、「内容のコピーと抽出」が許可されていれば、サムネイル表示することができます。
固定パスワードの設定方法については、ScanSnap の「オペレーターガイド」を参照してください。
- 検索可能な PDF ファイルに変換中の PDF ファイルには、背景が黄色のテキストマーク(🔍)が表示され、サムネイルがアイコンに変わります。このような表示がされている間は、PDF の操作はできません。
- サムネイルが表示されず、アイコンおよびカギのマーク(🔒)が表示された PDF ファイルの場合、テキストマーク(🔍)は表示されません。
- 電子署名が設定されている PDF ファイルには、電子署名マーク(📄)が表示されます。



マウスによる操作

操作	意味
サムネイル表示画面をクリック	ファイルが選択されます。
サムネイル表示画面をダブルクリック	ScanSnap Organizer ビューア、または関連付けられているアプリケーションが起動され、ファイルが表示されます。
選択したサムネイルの「ファイル名」をクリック	ファイル名が変更可能になります。 ファイル名の変更を確定するには、[Enter]キーを押します。
選択したサムネイルの「ページ数表示」をクリック	ページ入力が可能になります。 入力したページがサムネイル表示されます。 ページ入力を確定するには、[Enter]キーを押します。
[ページ送り]ボタンをクリック	サムネイル表示が以下のように変わります。 ▶ の場合、1 ページ進みます。 ▶ の場合、最終ページに進みます。 ◀ の場合、1 ページ戻ります。 ◀ の場合、先頭ページに戻ります。
サムネイル表示画面上をドラッグ、任意の場所でドロップ	選択したファイルを、任意の場所に移動します。
サムネイル表示画面上をドラッグ、[Ctrl]キーを押しながら任意の場所でドロップ	選択したファイルを、任意の場所にコピーします。

2.3. オフィス機能について

「オフィス機能」とは、日常オフィスでよく使う機能を使いやすくまとめたものです。ScanSnap で作成した PDF ファイルを選択して、オフィス機能のアイコンをクリック、またはファイルをアイコンにドラッグ&ドロップするだけで、ファイルをメールに添付して送信、プリンタで印刷といった様々な機能を、簡単に素早く実行することができます。



アイコンと名称	機能	詳細説明
 メールで送信	選択したファイルをメールに添付し送信します。	3.9. ファイルをメールに添付して送ります (58ページ)
 プリンタで印刷	選択したファイルをプリンタで印刷します。	3.10. 印刷します (60ページ)

詳しい操作方法は、上記の詳細説明の各項を参照してください。

2.4. ScanSnap Organizer ビューアについて

ScanSnap Organizer では、ScanSnap Organizer ビューアで、PDF ファイルおよび JPEG ファイルを表示／編集することができます。



ScanSnap Organizer ビューアでファイルを表示／編集するには、[ツール]メニューから「オプション」画面を表示し、[一般設定]タブの「マウス操作」で、「ScanSnap Organizer ビューア」を選択しておく必要があります。



- ScanSnap Organizer ビューアで編集できるファイルは、JPEG ファイルと ScanSnap で読み込んだ PDF ファイルです。
- ScanSnap で読み取りした PDF ファイルではない場合や、PDF ファイルまたは JPEG ファイルが読み取り専用の場合は表示モードで開きます。表示モードでは、ページの閲覧はできますが、編集は行えません。

PDF ファイルおよび JPEG ファイルの表示／編集は、以下の ScanSnap Organizer ビューアで行います。

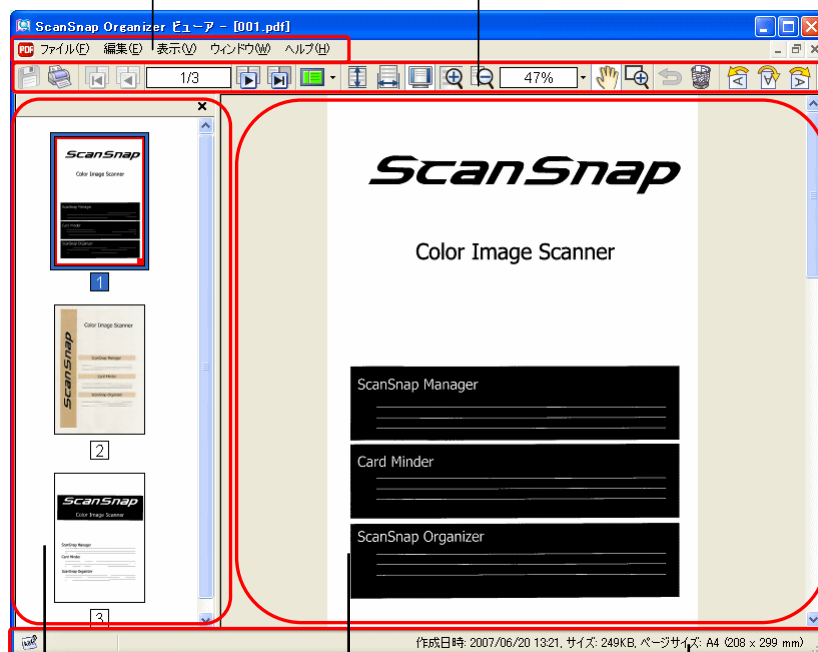
<ScanSnap Organizer ビューア>

メニューバー

ScanSnap Organizer ビューアを操作するためのメニューを表示します。

ツールバー

よく使う機能をボタンで表示します。



ページ一覧

PDF ファイルおよび JPEG ファイルが、サムネイルで表示されます。

ページ表示

ページ一覧で選択しているページが表示されます。

ステータスバー

表示している PDF ファイルおよび JPEG ファイルのファイル情報 (マーク、作成日時、ファイルサイズ、およびページサイズ) が表示されます。

2.4.1. メニューバー (ScanSnap Organizer ビューア)

ScanSnap Organizer ビューアのメニューバーにある各メニューについて説明します。

<[ファイル]メニュー>

[ファイル]メニュー	意味
上書き保存 <Ctrl+S>	ページの編集後、上書きしてファイルを保存します。
名前を付けて保存	ページの編集後、別名でファイルを保存します。
印刷 <Ctrl+P>	表示しているファイルをプリンタで印刷します。
閉じる <Ctrl+W>	表示しているファイルを閉じます。
終了	ScanSnap Organizer ビューアを終了します。

<[編集]メニュー>

[編集]メニュー	意味
元に戻す <Ctrl+Z>	直前に行った以下の操作を操作前の状態に戻します。 <ul style="list-style-type: none"> ・切り取り ・貼り付け ・ページの挿入／削除 ・回転 ・移動
切り取り <Ctrl+X>	選択しているページを切り取ります。
コピー <Ctrl+C>	選択しているページをコピーします。
貼り付け <Ctrl+V>	切り取り、またはコピーしたページを貼り付けます。
ページの挿入	別ファイルからページを挿入します。
ページの削除 <Delete>	選択しているページを削除します。 画面モードが「ページ表示のみ」の場合、メニュー名が「表示ページの削除」となり、表示しているページのみ削除します。
左 90 度回転	選択しているページを左に 90 度回転します。 画面モードが「ページ表示のみ」の場合、メニュー名が「表示ページの左 90 度回転」となり、表示しているページのみ回転します。
180 度回転	選択しているページを 180 度回転します。 画面モードが「ページ表示のみ」の場合、メニュー名が「表示ページの 180 度回転」となり、表示しているページのみ回転します。
右 90 度回転	選択しているページを右に 90 度回転します。 画面モードが「ページ表示のみ」の場合、メニュー名が「表示ページの右 90 度回転」となり、表示しているページのみ回転します。
すべてを選択 <Ctrl+A>	ページをすべて選択します。
表示ページのみ選択 <Esc>	表示ページのみ選択します。

<[表示]メニュー>

[表示]メニュー	意味
すべて表示	ScanSnap Organizer ビューアにページ一覧とページを表示します。
ページ表示のみ	ScanSnap Organizer ビューアにページのみ表示します。
ページ一覧のみ	ScanSnap Organizer ビューアにページ一覧のみ表示します。
拡大 <Ctrl++>	ページを拡大して表示します。
縮小 <Ctrl+->	ページを縮小して表示します。
倍率指定	ページの表示倍率を指定して、ページを表示します。
手のひらスクロール	拡大表示しているページをドラッグして、ページをスクロールします。
部分拡大	指定した部分を拡大して表示します。 <ul style="list-style-type: none"> ページ上でマウスをドラッグした場合は、ドラッグした範囲を拡大します。 ページ上で左クリックした場合は、既定のスケールに従って、クリックした部分を拡大します。 なお、[Ctrl]キーを押しながら、マウスをドラッグまたは左クリックした場合は、縮小して表示します。
高さに合わせる	ウィンドウの高さに合わせて、ページを表示します。
幅に合わせる	ウィンドウの幅に合わせて、ページを表示します。
標準	ページの表示倍率を 100%にして、ページを表示します。
全体表示	ウィンドウのサイズに合わせて、ページ全体を表示します。
先頭ページ	先頭ページを表示します。
前ページ	前のページを表示します。
次ページ	次のページを表示します。
最終ページ	最終ページを表示します。
ページ指定	ページ番号を指定して、ページを表示します。
PDF チェックのメッセージ表示	ファイルを開くときの、以下のメッセージの表示/非表示を切り替えます。 <ul style="list-style-type: none"> ScanSnap PDF ファイルチェックの警告 PDF ファイルのバージョンチェックの警告

<[ウィンドウ]メニュー>















[ウィンドウ]メニュー	意味
重ねて表示	複数起動しているウィンドウを重ねて表示します。
並べて表示	複数起動しているウィンドウを上下、または左右に並べて表示します。






<[ヘルプ]メニュー>

[ヘルプ]メニュー	意味
ヘルプの表示	ScanSnap Organizer のヘルプを表示します。
バージョン情報	ScanSnap Organizer ビューアのバージョン情報を表示します。

2.4.2. ツールバー(ScanSnap Organizer ビューア)

ScanSnap Organizer ビューアのツールバーにある各ボタンについて説明します。

ボタンと名称	意味
 上書き保存	ページの編集後、上書きしてファイルを保存します。
 印刷	表示しているファイルをプリンタで印刷します。
 先頭ページ	先頭ページを表示します。
 前ページ	前のページを表示します。
<input type="text" value="39/42"/> ページ指定	ページ番号を指定して、ページを表示します。
 次ページ	次のページを表示します。
 最終ページ	最終ページを表示します。
 画面モード切替	ウィンドウの表示方法を、「すべて表示」(ページ一覧とページ表示)⇔「ページ表示のみ」⇔「ページ一覧のみ」に切り替えます。
 高さに合わせる	ウィンドウの高さに合わせて、ページを表示します。
 幅に合わせる	ウィンドウの幅に合わせて、ページを表示します。
 全体表示	ウィンドウのサイズに合わせて、ページ全体を表示します。
 拡大	ページを拡大して表示します。
 縮小	ページを縮小して表示します。
<input type="text" value="60%"/> 倍率指定	ページの表示倍率を指定して、ページを表示します。
 手のひらスクロール	拡大表示しているページをドラッグして、ページをスクロールします。
 部分拡大	指定した部分を拡大して表示します。 <ul style="list-style-type: none"> ・ページ上でマウスをドラッグした場合は、ドラッグした範囲を拡大します。 ・ページ上で左クリックした場合は、既定のスケールに従って、クリックした部分を拡大します。 なお、[Ctrl]キーを押しながら、マウスをドラッグまたは左クリックした場合は、縮小して表示します。

ボタンと名称	意味
 元に戻す	直前に行った以下の操作を操作前の状態に戻します。 <ul style="list-style-type: none">・切り取り・貼り付け・ページの挿入／削除・回転・移動
 ページの削除	選択しているページを削除します。 画面モードが「ページ表示のみ」の場合、表示しているページのみ削除します。
 左 90 度回転	選択しているページを左に 90 度回転します。 画面モードが「ページ表示のみ」の場合、表示しているページのみ回転します。
 180 度回転	選択しているページを 180 度回転します。 画面モードが「ページ表示のみ」の場合、表示しているページのみ回転します。
 右 90 度回転	選択しているページを右に 90 度回転します。 画面モードが「ページ表示のみ」の場合、表示しているページのみ回転します。

3. ScanSnap Organizer の各種機能

この章では、ScanSnap Organizer の様々な機能について説明します。

3.1. ScanSnap と連携します

ScanSnap で読み取りを行い、ScanSnap Organizer で表示・整理する方法について説明します。

3.1.1. 準備

[スキャン]ボタンの操作モードが「左クリックメニューモード」の場合、および e-文書法に対応した読み取りを行う場合は、事前に以下の準備が必要です。

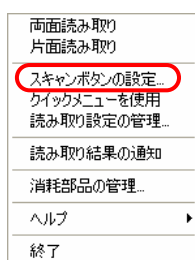


ScanSnap の[スキャン]ボタンの操作モードには以下の 2 種類があります。

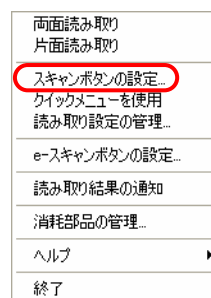
- クイックメニューモード
読み取った後で「クイックメニュー」を表示して動作を選択するモード
 - 左クリックメニューモード
あらかじめ使用するアプリケーションを選択しておいてから読み取りを行うモード
- 詳しくは、ScanSnap の「オペレーターガイド」を参照してください。

1. タスクバーにある「ScanSnap Manager」のアイコン (S または S) を右クリックして、以下の手順で読み取りの設定を変更します。

- 通常で読み取るときの設定を変更する場合
[スキャンボタンの設定]を選択します。



【ScanSnap S300 の場合】

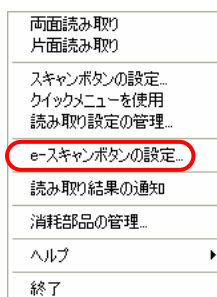


【[e-スキャン] ボタンがある
スキャナ装置の場合】

- e-文書法に対応した読み取りを行うときの設定を変更する場合
[e-スキャン]ボタンがあるスキャナ装置は、[e-スキャンボタンの設定]を選択します。



ScanSnap S300 では、e-文書法に対応した読み取りはできません。



【[e-スキャン] ボタンがあるスキャナ装置の場合】

⇒ 「読み取りと保存に関する設定」の画面が表示されます。

ここでは、[スキャンボタンの設定]を選択した場合の画面を例に説明します。

2. [アプリ選択]タブの「アプリケーションの選択」で「ScanSnap Organizer」を選択します。



接続されている ScanSnap の機種によって、表示される設定画面が異なる場合があります。ScanSnap の設定方法については、ScanSnap の「オペレーターガイド」を参照してください。

3. [OK]ボタンをクリックします。

⇒ 「読み取りと保存に関する設定」の画面が閉じます。

3.1.2. 読み取り

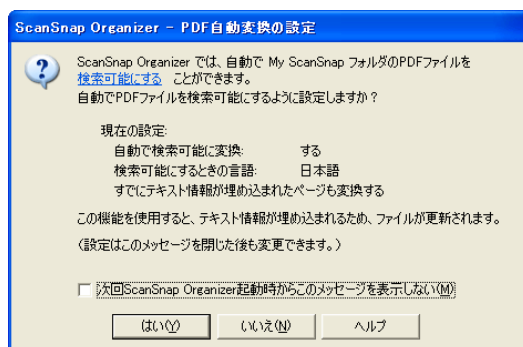
1. スキャナに原稿をセットします。
 2. 以下のいずれかの操作ボタンを押します。
 - [スキャン]ボタン
 - [e-スキャン]ボタン([e-スキャン]ボタンがあるスキャナ装置で、e-文書法に対応した読み取りを行う場合)
- ⇒ 読み取りが開始されます。



クイックメニューモードで読み取った場合、「クイックメニュー」が表示されます。「このコンピュータに保存」を選択してください。



- ⇒ 読み取りが終わると、「PDF 自動変換の設定」画面が表示されます。
(※ 設定によっては、表示されない場合があります。)



3. 自動で検索可能な PDF に変換させる場合は[はい]ボタンを、自動で変換させない場合は[いいえ]ボタンをクリックします。



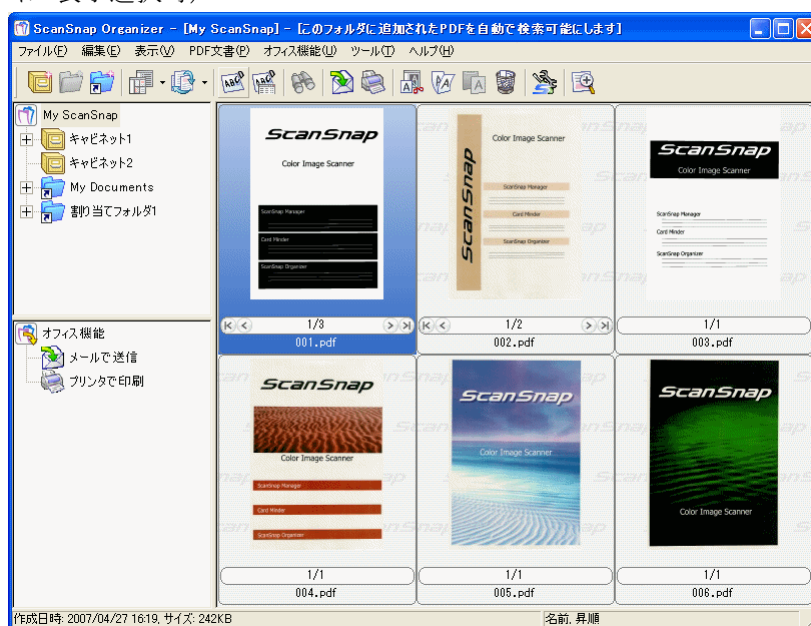
- ScanSnap Organizer には、ScanSnap で読み取ったイメージのみの PDF ファイルにテキスト情報を埋め込んで、検索可能な PDF に変換する機能があります。この機能には、必要な PDF ファイルだけを選択して変換する方法と、あらかじめ決められたフォルダ ([My ScanSnap] フォルダ、Windows Vista の場合は [ScanSnap] フォルダ) 内に追加された PDF ファイルに対して自動で変換する方法があります。前者を選択する場合は「いいえ」、後者の場合は「はい」をクリックしてください。
- 「PDF 自動変換の設定」画面は、表示させないようにすることもできます。次回起動時からこの画面を起動させたくない場合は、「次回 ScanSnap Organizer 起動時からのこのメッセージを表示しない」チェックボックスをチェックしてください。
- 「PDF 自動変換」の設定は、ログオンユーザーごとに変えられます。[My ScanSnap] フォルダ (Windows Vista の場合は [ScanSnap] フォルダ) 配下に PDF ファイルを追加したユーザーが、Windows にログオンしている間、コンピュータを使用していない時間に PDF ファイルを変換します。ログオフするまでに変換が完了しなかった場合は、同じユーザーが次に Windows にログオンしたときに再開されます。



- 検索可能な PDF とはどのようなものかについては、「付録 1. 検索可能な PDF について」(76ページ)を参照してください。
- 「PDF 自動変換」の設定は、後で変更することができます。方法については、「3.4. 検索可能な PDF ファイルへの自動変換を設定します」(51ページ)を参照してください。

⇒ ScanSnap Organizer が起動して、読み取った画像がサムネイル表示されます。

(サムネイル表示選択時)



- 読み取った画像は、「オプション」→「一般設定」の画面で「My ScanSnap フォルダ」に指定したフォルダに保存されます。(19ページ参照)
初期設定は、[マイ ドキュメント] 下の [My ScanSnap] フォルダです。
- スキャナ読み取り後、パスワード付加などの後処理が完了するまでの間、ScanSnap Organizer での表示が遅くなったり、表示されなくなったりする場合があります。後処理が完了してもファイルが表示されない場合は、[表示]→[最新の情報に更新]をクリックし、ファイル一覧の表示を最新の状態にしてください。

3.1.3. ファイルの整理

ここでは、キャビネットとフォルダを新しく作成して、読み取ったファイルを、その中に移動させる手順について説明します。



部屋([My ScanSnap]フォルダ)の中に山積みになった書類(ファイル)を整理するために、棚(キャビネット)と書類入れ(フォルダ)を新しく設置し、その中に、目的別に分類して書類を片付けるというイメージです。

1. ツールバーの「キャビネットの作成」アイコン をクリックします。

[ファイル]メニューから、[新規作成]→[キャビネット]を選択しても同じ動作になります。

⇒ フォルダー一覧の[My ScanSnap]フォルダ下に、「新しいキャビネット」が作成されます。



2. キャビネット名を入力します。


ここでは、例として「キャビネット 1」という名前にします。



一度決定した名前を変更したい場合は、変更したい名前を選択して、その名前をクリックするか、または名前を選択して、[ファイル]メニューの[名前の変更]を選択してください。

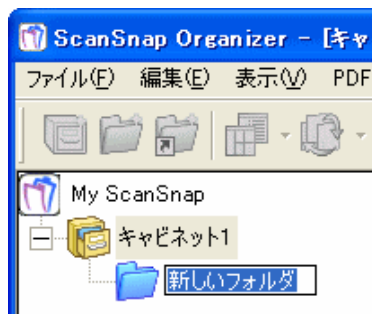
3. 操作 1 で作成したキャビネットを選択します。



4. ツールバーの「フォルダの作成」アイコン  をクリックします。

[ファイル]メニューから、[新規作成]→[フォルダ]を選択しても同じ動作になります。

⇒ 操作 1 で作成したキャビネットの下に、「新しいフォルダ」が作成されます。



5. フォルダ名を入力します。

ここでは、例として「フォルダ 1」、「フォルダ 2」という 2 つのフォルダを作成します。



一度決定した名前を変更したい場合は、変更したい名前を選択して、その名前をクリックするか、または名前を選択して、[ファイル]メニューの[名前の変更]を選択してください。

6. 操作 3～5 を繰り返して、必要な分のフォルダを作成します。



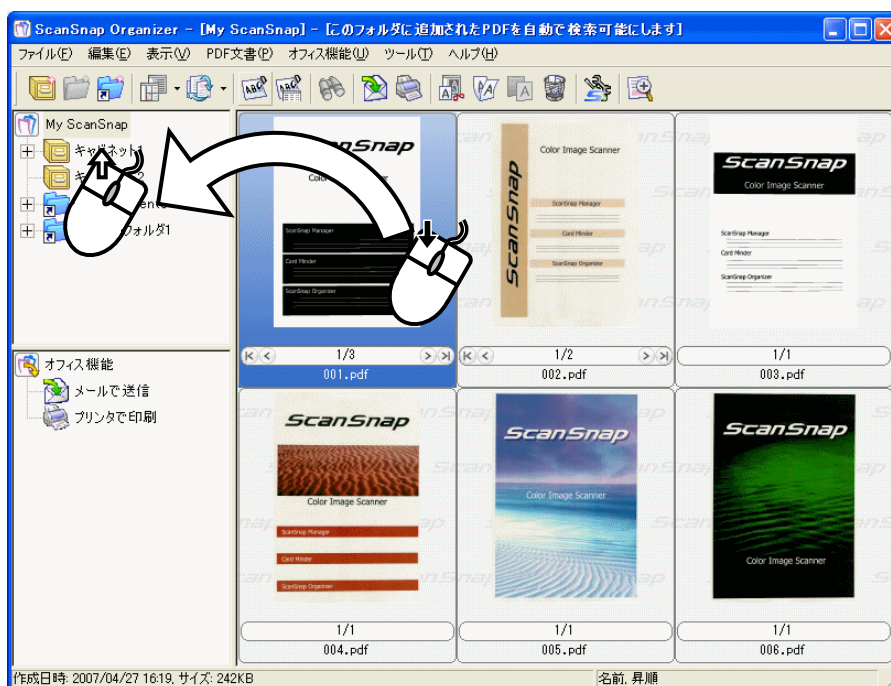
7. [My ScanSnap]フォルダを選択し、移動したいファイルを選択します。



[Ctrl]キーまたは[Shift]キーを押しながら選択すると、一度に複数のファイルを選択することができます。

3. ScanSnap Organizer の各種機能

8. 選択したファイルを、目的のフォルダに、ドラッグ & ドロップします。



⇒ 選択したファイルが、目的のフォルダに移動します。



ドラッグして、目的のフォルダ上で[Ctrl]キーを押しながらドロップすると、選択したファイルがコピーされます。

9. 操作 7、8 を繰り返して、ファイルを目的のフォルダに保存します。



ScanSnap Organizer で作成した「キャビネット」、「フォルダ」や、「My ScanSnap フォルダ」のアイコンは、エクスプローラやマイ コンピュータのアイコン表示にも反映されます。(Windows Vista の場合を除く)

キャビネット: 、フォルダ: 、My ScanSnap フォルダ: 


3.2. コピー／移動します


ファイル、フォルダ、またはキャビネットを、[My ScanSnap]フォルダ内の別のキャビネットまたはフォルダにコピー／移動する方法について説明します。

1. ファイル一覧から、コピーまたは移動したいファイルを選択します。
フォルダ／キャビネットの場合は、フォルダ一覧から選択します。




- ファイルをコピー／移動する場合は、[Ctrl]キーまたは[Shift]キーを押しながら選択すると、一度に複数のファイルを選択することができます。
- フォルダ／キャビネットをコピー／移動すると、その中にあるフォルダやファイルもすべてコピー／移動されます。
- 割り当てフォルダをコピー／移動することはできません。

2. コピーの場合は、ツールバーの[コピー]ボタン  をクリックします。

また、移動の場合は、ツールバーの[切り取り]ボタン  をクリックします。

コピーの場合は、[編集]メニューの[コピー]、移動の場合は、[編集]メニューの[切り取り]を選択しても同じ動作になります。

3. フォルダ一覧で、コピー／移動先のキャビネットまたはフォルダを選択します。

4. ツールバーの[貼り付け]ボタン  をクリックします。

[編集]メニューの[貼り付け]を選択しても同じ動作になります。

⇒ 選択したファイル／フォルダ／キャビネットが、目的のキャビネットまたはフォルダに、コピー／移動されます。



ScanSnap Organizer 上では、「フォルダ」を[My ScanSnap]フォルダの直下に貼り付けると「キャビネット」に変わります。逆に、「キャビネット」を他の「キャビネット」や「フォルダ」内にコピー／移動すると「フォルダ」に変わります。

3.3. 検索可能な PDF に変換します

ScanSnap Organizer では ScanSnap で読み取った PDF ファイルを、検索可能な PDF ファイルに変換できます。ScanSnap で読み取った PDF ファイルを検索可能な PDF に変換 (76 ページ参照) する方法について説明します。

1. ファイル一覧から、検索可能な PDF に変換したい PDF ファイルを選択します。



検索可能な PDF ファイルに変換できないファイル

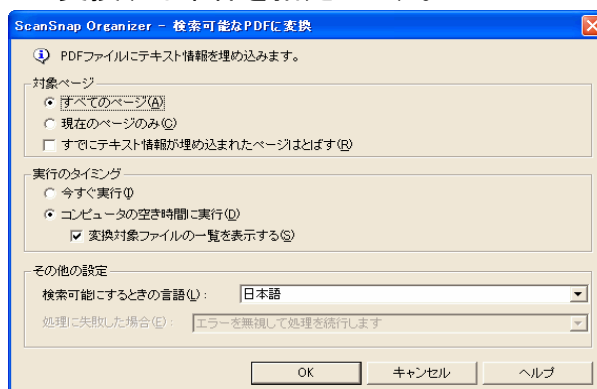
次のファイルはこのままの状態では ScanSnap Organizer で変換処理をすることができません。これらのファイルを検索可能な PDF ファイルに変換したい場合は、以下の指示に従ってください。

- ScanSnap による読み取り以外で作成した PDF ファイル
ScanSnap で読み取って PDF を作成してから変換を行うか、Adobe Acrobat などを使って検索可能な PDF ファイルに変換してください。
- セキュリティ(パスワードなど)が設定されているファイル
セキュリティ(パスワードなど)を解除してから、変換処理を行ってください。
- 電子署名が設定されているファイル
電子署名が無効になってしまうため、この操作では検索可能な PDF ファイルへの変換を行いません。電子署名を付ける前に検索可能な PDF ファイルへ変換してください。

2. [PDF 文書]メニューから[検索可能な PDF に変換]→[実行]をクリックするか、またはツールバーの[検索可能な PDF に変換]ボタン をクリックします。

⇒ 「検索可能な PDF に変換」画面が表示されます。

3. 検索可能な PDF に変換する条件を指定します。



- **対象ページ:**

検索可能な PDF に変換するページを選択します。

- **すべてのページ**

選択した PDF ファイルのすべてのページを変換対象とします。

(すべてのページに対して変換処理を行うため、選択した PDF ファイルの数やページ数によっては、非常に時間がかかる場合があります。)

- **現在のページのみ**

サムネイル表示時は、現在サムネイル表示されているページのみを変換対象とします。

リスト表示時は、選択できません。

- **「すでにテキスト情報が埋め込まれたページはとばす」チェックボックス**

検索可能な PDF ファイルに変換されるとテキスト情報(文字情報)が埋め込まれます。ここにチェックをすると、検索可能な PDF ファイルに変換されていないページのみを変換処理します。チェックがない場合はすでに変換されたページもすべて変換処理します。

- **実行のタイミング:**

いつ変換を実施するかを指定します。

- **今すぐ実行**

[OK]ボタンを押すと同時に変換処理を開始します。

- **コンピュータの空き時間に実行**

コンピュータの使用状況を見ながら、本機能を実行したユーザーが Windows にログオンしている間、コンピュータを使用していない時間に PDF ファイルを変換します。ログオフするまでに変換が完了しなかった場合は、同じユーザーが次に Windows にログオンしたときに再開されます。

- **「変換対象ファイルの一覧を表示する」チェックボックス**

チェックすると、[OK]ボタンを押したときに、現在、変換対象となっているファイルがリスト表示され、進行状況を確認することができます。

「コンピュータの空き時間に実行」を選択したときのみ有効です。

- **その他の設定**

検索可能にするときの言語:

変換処理に用いる言語を指定します。

処理に失敗した場合:

変換処理に失敗した場合の対処方法を指定します。

「実行のタイミング」で、「今すぐ実行」を選択時のみ指定可能です。

- **エラーを無視して処理を続行します**

変換中にエラーが起きても、最後まで処理を続行します。

- **処理を中断して、続行するかどうかの確認メッセージを表示します**

変換中にエラーが起きた場合、確認のメッセージが表示され、処理を一時停止します。

- **処理を停止してエラーメッセージを表示します**

変換中にエラーが起きた場合、エラーメッセージが表示され、処理を停止します。

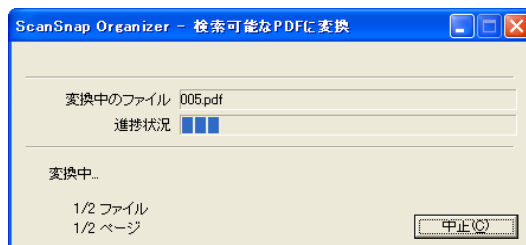
※ 「コンピュータの空き時間に実行」を選択した場合は、変換中にエラーが起きても最後まで処理を続行します。

4. [OK]ボタンをクリックします。

⇒ 変換処理が実行されます。

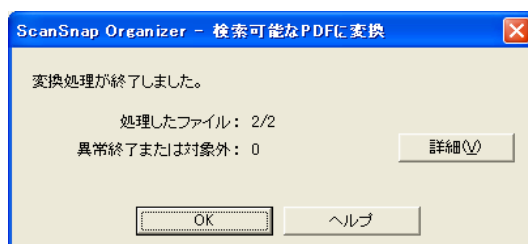
①「今すぐ実行」を選択した場合

以下の画面が表示され、すぐに変換が開始されます。

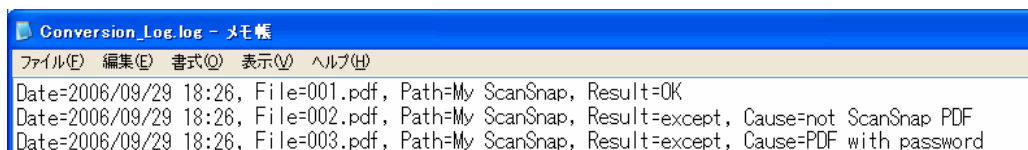


[中止]ボタンをクリックすると、現在変換中のページの処理完了後に変換が中止され、「検索可能なPDFに変換」画面(変換処理終了)が表示されます。

すべてのファイルについて変換が終了すると、「検索可能なPDFに変換」画面(変換処理終了)が表示されます。



「異常終了」または「対象外」のファイルがある場合、「詳細」ボタンをクリックし、表示された「Conversion_Log」ログで詳細を確認します。



ログの見方

変換結果には、以下の内容が表示されます。

Date=実行日時

File=実行ファイル名

Path=ファイル保存先

Result=実行結果

Cause=原因(実行結果が NG または except の場合に表示)

「Result」に表示される内容と意味は、以下のとおりです。

OK:	PDF 変換が正常に行われました。
NG:	PDF 変換に失敗しました。
except:	PDF 変換の対象外です。
canceled:	変換処理がキャンセルされました。

「Result」が「NG」または「except」の場合、「Cause」にその原因が表示されます。

表示される内容と意味は、以下のとおりです。

Result	Cause	意味
NG	file not found	PDF ファイルが見つかりません。「Path=」に表示されているフォルダ下に「File=」に表示されているファイルが存在するか確認して、再度実行してください。
	under file use	PDF ファイルが他で使用中のため、検索可能な PDF ファイルに変換できませんでした。ファイルの使用状況を確認して、再度実行してください。
	file open error	PDF ファイルが他で使用中またはアクセス権がないなどのため、ファイルが開けませんでした。ファイルの使用状況やアクセス権などを確認して、再度実行してください。
	file access failure	PDF ファイルが他で使用中またはアクセス権がないなどのため、ファイルのアクセスに失敗したか、ファイルが開けませんでした。ファイルの使用状況やアクセス権などを確認して、再度実行してください。
	OCR error	検索可能な PDF ファイルに変換中に異常が発生しました。再度実行してください。
	out of memory	システムメモリが不足しているため、処理を行うことができませんでした。不要なプログラムを終了してから、再度実行してください。それでもこのエラーが発生するときは、メモリを増設してください。
	disk full	PDF ファイルが保存されているドライブ、ユーザーの Temp フォルダがあるドライブ、またはユーザプロファイルがあるドライブのハードディスク容量が不足しています。必要のないファイルを削除するなど、ディスク容量を確保してから、再度実行してください。
error	内部エラーが発生しました。再度実行してください。	
except	not ScanSnap PDF	ScanSnap で読み取った PDF ファイルではないため、検索可能な PDF ファイルに変換できません。
	PDF with password	PDF ファイルにパスワードが設定されているため、検索可能な PDF ファイルに変換できません。パスワードを解除して、再度実行してください。
	PDF with digital signature	PDF ファイルに電子署名が設定されています。電子署名が無効になってしまうため、この操作では検索可能な PDF ファイルへの変換を行いません。
	not PDF	PDF ファイルではないため、検索可能な PDF ファイルに変換できません。(複数のファイルを選択して変換した場合のみ、該当ファイルについて表示)

3. ScanSnap Organizer の各種機能



変換結果は、以下の「Conversion_Log」ログに上書き保存されます。ログを保存する必要があるときは、[ファイル]メニューの[名前を付けて保存]で保存してください。

Windows XP, Windows 2000 の場合

ドライブ名 (C など):¥Documents and Settings¥(ユーザー名)¥Application Data
¥PFU¥ScanSnap Organizer¥Conversion_Log.log

Windows Vista の場合

ドライブ名 (C など):¥Users¥(ユーザー名)¥AppData¥Roaming¥PFU¥ScanSnap
Organizer¥Conversion_Log.log

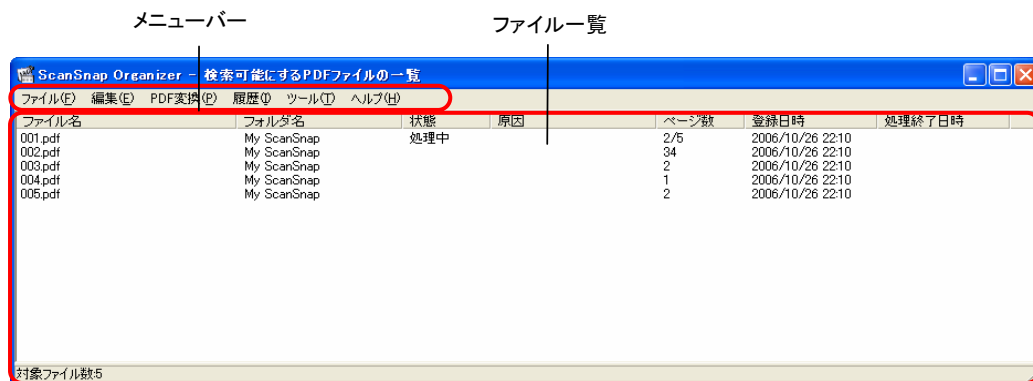


変換処理が失敗する場合は、原稿を読み取りなおすか、Adobe Acrobatなどでテキスト認識処理を行ってください。

②「コンピュータの空き時間に実行」を選択した場合

コンピュータの空き時間に、処理が実行されます。

「変換対象ファイルの一覧を表示する」チェックボックスをチェックした場合は、[OK]ボタンをクリックしたときに以下の画面が表示され、進行状況を確認することができます。



- 「検索可能にする PDF ファイルの一覧」画面を表示しなくても、処理は実行されます。処理状況を確認する必要がない場合は、画面を閉じてください。また、この画面は、[スタート]メニューの[すべてのプログラム]→[ScanSnap Organizer]→[検索可能にする PDF ファイルの一覧]を選択するか、または ScanSnap Organizer の[PDF 文書]メニュー→[検索可能な PDF ファイルに変換]→[対象ファイル一覧]を選択することにより、必要なときに表示することができます。
- 「検索可能にする PDF ファイルの一覧」画面を最前面に表示した場合、コンピュータの空き時間でなくても変換処理が開始されます。

メニューバー

● ファイル

中止/一覧から削除 : 選択しているファイルの変換を中止し、一覧から削除します。

閉じる : 検索可能にする PDF ファイルの一覧画面を閉じます。

● 編集

すべて選択 : ファイルをすべて選択します。

● PDF 変換

一時停止 : 検索可能な PDF ファイルに変換する処理を一時停止します。一時停止すると「再開」の表示に変わります。タイトルバーには「一時停止」と表示されます。

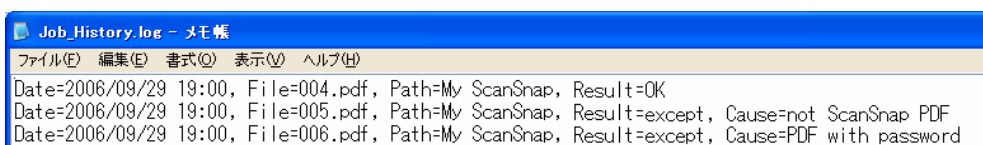
再開 : 一時停止された変換処理を再開します。

再開すると「一時停止」の表示に変わります。

● 履歴

変換履歴 : PDF ファイルの変換履歴が記載された「Job_History」ログを表示します。

3. ScanSnap Organizer の各種機能



ログの見方

以下の内容が表示されます。

Date=実行日時

File=実行ファイル名

Path=ファイル保存先

Result=実行結果

Cause=原因 (Result が NG または except の場合に表示)

「Result」に表示される内容と意味は、以下のとおりです。

OK:	PDF 変換が正常に行われました。
NG:	PDF 変換に失敗しました。
except:	PDF 変換の対象外です。
canceled:	変換処理がキャンセルされました。

「Result」が「NG」または「except」の場合、「Cause」にその原因が表示されます。

表示される内容と意味は、以下のとおりです。

Result	Cause	意味
NG	file not found	PDF ファイルが見つかりません。「Path=」に表示されているフォルダ下に「File=」に表示されているファイルが存在するか確認して、再度実行してください。
	under file use	PDF ファイルが他で使用中のため、検索可能にする PDF ファイルの一覧画面の最後に登録しなおしました。ファイルの使用状況を確認してください。(自動的に再試行します。)
	file open error	PDF ファイルが他で使用済みまたはアクセス権がないなどのため、ファイルが開けませんでした。ファイルの使用状況やアクセス権などを確認して、再度実行してください。
	file access failure	PDF ファイルが他で使用済みまたはアクセス権がないなどのため、ファイルのアクセスに失敗したか、ファイルが開けませんでした。ファイルの使用状況やアクセス権などを確認して、再度実行してください。
	OCR error	検索可能な PDF ファイルに変換中に異常が発生しました。再度実行してください。
	out of memory	システムメモリが不足しているため、処理を行うことができませんでした。不要なプログラムを終了してから、再度実行してください。それでもこのエラーが発生するときは、メモリを増設してください。

Result	Cause	意味
	disk full	PDF ファイルが保存されているドライブ、ユーザーの Temp フォルダのあるドライブ、またはユーザプロファイルのあるドライブのハードディスクの容量が不足しています。必要のないファイルを削除するなど、ディスク容量を確保してから、再度実行してください。
	error	内部エラーが発生しました。再度実行してください。
except	not ScanSnap PDF	ScanSnap で読み取った PDF ファイルではないため、検索可能な PDF ファイルに変換できません。
	PDF with password	PDF ファイルにパスワードが設定されているため、検索可能な PDF ファイルに変換できません。パスワードを解除して、再度実行してください。
	PDF with digital signature	PDF ファイルに電子署名が設定されています。電子署名が無効になってしまうため、この操作では検索可能な PDF ファイルへの変換を行いません。
	not PDF	PDF ファイルではないため、検索可能な PDF ファイルに変換できません。(複数のファイルを選択して変換した場合のみ、該当ファイルについて表示)



PDF 変換履歴は、以下の「Job_History」ログに保存されます。

Windows XP, Windows 2000 の場合

ドライブ名 (C など):¥Documents and Settings¥(ユーザー名)¥Application Data ¥PFU¥ScanSnap Organizer¥Job_History.log

Windows Vista の場合

ドライブ名 (C など):¥Users¥(ユーザー名)¥AppData¥Roaming¥PFU¥ScanSnap Organizer¥ Job_History.log

このログは一定のファイルサイズに達した場合、上書きされますので、必要に応じて定期的に保存してください。

「検索可能にする PDF ファイルの一覧」画面を開いて、[履歴]メニューの[変換履歴]を選択するとログが表示されますので、[ファイル]メニューの[名前を付けて保存]でログを保存します。

- ツール

表示の設定 : 「状態」が「異常終了」または「対象外」のファイルを検索可能にする PDF ファイルの一覧に表示する日数を設定します。

- ヘルプ

ヘルプの表示: ヘルプを表示します。

バージョン情報 : ScanSnap Organizer 「検索可能にする PDF ファイルの一覧」のバージョン情報を表示します。

ファイル一覧表示項目

ファイル名	フォルダ名	状態	原因	ページ数	登録日時	処理終了日時
001.pdf	My ScanSnap	対象外	ScanSnap PDF以外	2/2	2006/09/26 15:08	2006/09/26 15:08
002.rtf	My ScanSnap	対象外	ScanSnap PDF以外	2/2	2006/09/29 18:59	2006/09/29 18:59

- **ファイル名**

PDF ファイルの名前が表示されます。

- **フォルダ名**

PDF ファイルが保存されているフォルダのパス名が表示されます。

- **状態**

変換処理の状況が表示されます。表示される内容と意味は以下のとおりです。

空き待ち: コンピュータの空きを待ち合わせ中です。

処理中: 検索可能な PDF へ変換中です。

異常終了: 検索可能な PDF への変換処理に失敗しました。

対象外: 検索可能な PDF へ変換できない PDF です。

中止中: 検索可能な PDF へ変換中に「中止」操作が行われたため、変換処理を中止中です。中止処理が終わると「検索可能にする PDF ファイルの一覧」から選択されたファイルが削除されます。

停止中: 検索可能な PDF へ変換中に「一時停止」操作が行われたため、変換処理を停止中です。停止処理が終わると空欄になります。

- **原因**

「状態」が「空欄」、「空き待ち」、「異常終了」または「対象外」の場合、その原因が表示されます。

表示される内容と意味は以下のとおりです。

状態	原因	意味
空欄 空き待ち	ファイルが使用中	PDF ファイルが他で使用中のため、検索可能にする PDF ファイルの一覧画面の最後に登録しなおしました。ファイルの使用状況を確認してください。(自動的に再試行します。)
異常終了	ファイルがない	PDF ファイルが見つかりません。「フォルダ名」に表示されているフォルダ下に「ファイル名」に表示されているファイルが存在するか確認して、再度実行してください。
	ファイルが開けない	PDF ファイルが他で使用中またはアクセス権がないなどのため、ファイルが開けませんでした。ファイルの使用状況やアクセス権などを確認して、再度実行してください。
	ファイルアクセス失敗	PDF ファイルが他で使用中またはアクセス権がないなどのため、ファイルのアクセスに失敗したか、ファイルが開けませんでした。ファイルの使用状況やアクセス権などを確認して、再度実行してください。
	変換失敗	検索可能な PDF ファイルに変換中に異常が発生しました。再度実行してください。

状態	原因	意味
異常終了	メモリ不足	システムメモリが不足しているため、処理を行うことができませんでした。不要なプログラムを終了してから、再度実行してください。それでもこのエラーが発生するときは、メモリを増設してください。
	ディスク不足	PDF ファイルが保存されているドライブ、ユーザーの Temp フォルダのあるドライブ、またはユーザプロファイルのあるドライブのハードディスクの容量が不足しています。必要のないファイルを削除するなど、ディスク容量を確保してから、再度実行してください。
	エラー発生	内部エラーが発生しました。再度実行してください。
対象外	ScanSnap PDF 以外	ScanSnap で読み取った PDF ファイルではないため、検索可能な PDF ファイルに変換できません。
	パスワード付き	PDF ファイルにパスワードが設定されているため、検索可能な PDF ファイルに変換できません。パスワードを解除して、再度実行してください。
	電子署名付き	PDF ファイルに電子署名が設定されています。電子署名が無効になってしまうため、この操作では検索可能な PDF ファイルへの変換を行いません。

- ページ数

変換処理の対象となるページ数が表示されます。ただし、PDF ファイルにセキュリティ(パスワードなど)が設定されている場合、ページ数は表示されません。

- 登録日時

検索可能な PDF ファイルにする指示を行った日時が表示されます。

- 処理終了日時

変換処理の終了日時が表示されます。



- 以下のファイルは、一覧から自動的に削除されます。
 - 検索可能な PDF に変換する処理が正常に終了したファイル
 - 「検索可能にする PDF ファイルの一覧」画面の「状態」が「異常終了」または「対象外」で、「処理終了日時」に表示された日から、[ツール]→[表示の設定]で指定した日数が経過したファイル
- 「検索可能にする PDF ファイルの一覧」画面を最前面に表示した場合、コンピュータの空き時間でなくても変換処理が開始されます。



- フォルダやファイルの移動／名称変更時の注意

PDF ファイルが「検索可能にする PDF ファイルの一覧」画面に登録されてから、実際に変換処理が実行されるまでに、フォルダ名やファイル名を変更したり、ファイルを移動したりする場合は、Organizer 上で操作してください。

エクスプローラでフォルダやファイルの名前の変更／移動をした場合、ScanSnap Organizer で検知できないため、変換処理の際に、エラーになったり、別のファイルに対して変換処理が実行されたりする場合があります。


3. ScanSnap Organizer の各種機能

- 検索可能な PDF ファイルに変換できないファイル

ScanSnap で読み取った PDF ファイルでも、セキュリティ(パスワードなど)、電子署名が設定されている PDF ファイルは検索可能な PDF に変換できません。

⇒ 変換処理が完了すると、サムネイルの左下に  が表示されます。



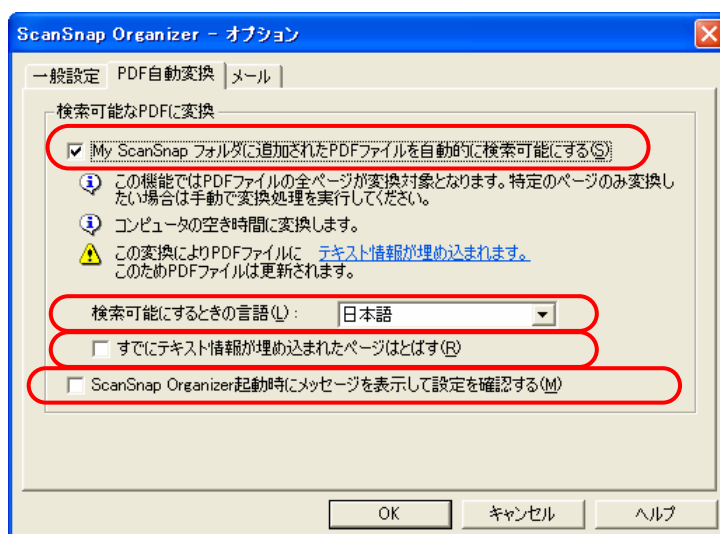
- 検索可能な PDF に変換中の PDF ファイルには、背景が黄色のテキストマーク()が表示され、サムネイルの画像がアイコンに変わります。このような表示がされている間は、PDF の操作はできません。
 - 使用する PDF データによっては、検索可能な PDF に変換するのに時間がかかる場合があります。このような場合は、「コンピュータの空き時間に実行」することをお奨めします。
 - コンピュータの空き時間に検索可能な PDF の変換を設定していて、変換処理が終了しないうちに Windows からログオフした場合、以下の条件で再ログオン後変換を再開します。
 - ログオン後 10 分経過した場合
 - ログオン後 10 分以内に、「検索可能にする PDF ファイルの一覧」画面を表示した場合
 - ログオン後 10 分以内に、「検索可能にする PDF ファイルの一覧」画面に PDF ファイルが追加された場合(ただし、スキャナ読み取り後は、その 3 分後に再開されます)
 - 以下のような原稿(文字)は、うまく変換できない場合があります。
 - 手書き文字の原稿
 - 低解像度で読み取った小さな文字
 - 傾いた原稿
 - 指定した「検索可能にするときの言語」以外で書かれた原稿
 - イタリック文字で書かれた原稿
 - 上下添え字、複雑な数式
 - 文字の背景に不均一色背景や模様がある原稿
 - ・ 影、白抜きなど装飾がされている文字
 - ・ 網掛け内の文字
 - 複雑なレイアウトの原稿および、文字を判別しにくい原稿(裏写りした原稿、汚れた原稿など)
このような原稿では、変換時間が非常に長くなる場合があります。ただし、以上のような原稿(文字)も、カラーモードの変更や解像度を上げることで、変換できるようになる場合もあります。
 - 検索可能な PDF ファイルへの変換を行うと、PDF ファイルにテキスト情報が埋め込まれます。このため PDF ファイルは更新されます。
-

3.4. 検索可能な PDF ファイルへの自動変換を設定します

My ScanSnap フォルダ配下に ScanSnap で読み取った PDF ファイルが追加された場合に、自動でテキスト検索可能な PDF ファイルへの変換 (76ページ参照) を行うように設定する方法について説明します。

1. [PDF 文書]メニューから[検索可能な PDF に変換]→[自動変換の設定]をクリックします。

⇒ 「オプション」画面が表示されます。



2. 「My ScanSnap フォルダに追加された PDF ファイルを自動的に検索可能にする」チェックボックスをチェックします。
3. 「検索可能にするときの言語」を選択します。
4. 検索可能な PDF ファイルに変換されていないページのみを変換処理する場合、「すでにテキスト情報が埋め込まれたページはとばす」チェックボックスをチェックします。
5. ScanSnap Organizer 起動時に確認メッセージを表示して PDF ファイルを自動的に検索可能な PDF ファイルに変換する、しないを切り替えたい場合は、「ScanSnap Organizer 起動時にメッセージを表示して設定を確認する」チェックボックスをチェックします。
6. [OK]ボタンをクリックします。
⇒ 「オプション」画面が閉じます。



- 「My ScanSnap フォルダに追加された PDF ファイルを自動的に検索可能にする」チェックボックスをチェックすると、[My ScanSnap]フォルダ選択時に、メイン画面のタイトルバーに、「このフォルダに追加された PDF を自動で検索可能にします」と表示されます。
 - この機能がオフのとき保存されたファイルは、自動変換の対象にはなりません。自動変換の対象にならなかったファイルを検索可能な PDF ファイルに変換したい場合は、ファイルを選択して変換してください。
 - この機能では PDF ファイルの全ページが変換対象となります。特定のページのみ変換したい場合は、ファイルを選択して変換してください。
 - 「すでにテキスト情報が埋め込まれたページはとばす」チェックボックスにチェックをすると、すでに変換されているページの変換処理が省かれるため、処理時間を短縮することができます。
 - [My ScanSnap]フォルダ配下に PDF ファイルを追加したユーザーが、Windows にログオンしている間、コンピュータを使用していない時間に PDF ファイルを変換します。ログオフするまでに変換が完了しなかった場合は、同じユーザーが次に Windows にログオンしたときに以下の条件で再開されます。
 - ログオン後 10 分経過した場合
 - ログオン後 10 分以内に、「検索可能にする PDF ファイルの一覧」画面を表示した場合
 - ログオン後 10 分以内に、「検索可能にする PDF ファイルの一覧」画面に PDF ファイルが追加された場合（ただし、スキャナ読み取り後は、その 3 分後に再開されます）
 - 検索可能な PDF ファイルへの変換を行うと、PDF ファイルにテキスト情報が埋め込まれます。このため PDF ファイルは更新されます。
 - PDF 変換の処理状況は、「検索可能にする PDF ファイルの一覧」画面で確認できます。
 - ScanSnap で読み取った PDF ファイルでも、セキュリティ(パスワードなど)、電子署名が設定されている PDF ファイルは、検索可能な PDF に変換できません。
-

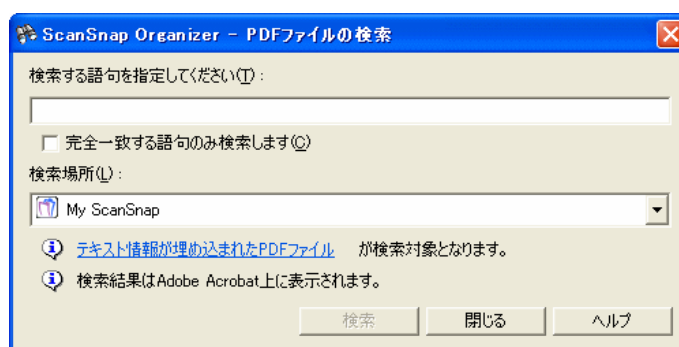
3.5. ファイルを検索します

PDF ファイルを検索する方法について説明します。

1. ツールバーの[検索]ボタン をクリックします。

[PDF 文書]メニューから[検索]を選択しても同じ動作になります。

⇒ 「PDF ファイルの検索」画面が表示されます。



2. 検索する語句を指定します。

完全に一致する語句だけを検索したい場合は、「完全一致する語句のみ検索します」チェックボックスをチェックします。

3. 検索場所を指定します。

検索場所には、以下のいずれかを指定することができます。

- My ScanSnap フォルダ
- キャビネット(作成されている場合のみ)
- 割り当てられたフォルダ(作成されている場合のみ)
- 選択中のフォルダ
- 参照(My ScanSnap フォルダ配下の任意のキャビネット・フォルダ)

4. [検索]ボタンをクリックします。

⇒ Adobe Acrobat が起動され、指定した語句で検索が開始されます。

5. 検索結果が表示されます。




- 検索機能は、Adobe Acrobat 7.0 以上がインストールされている場合だけ使用できます。
- 検索結果は、Adobe Acrobat 上で表示されます。検索結果を表示して確認してください。
- 検索の詳細は、Adobe Acrobat のヘルプを参照してください。

3.6. フォルダを割り当てます

任意のフォルダを、[My ScanSnap]フォルダ直下に割り当てる方法や、割り当てたフォルダの解除方法について説明します。

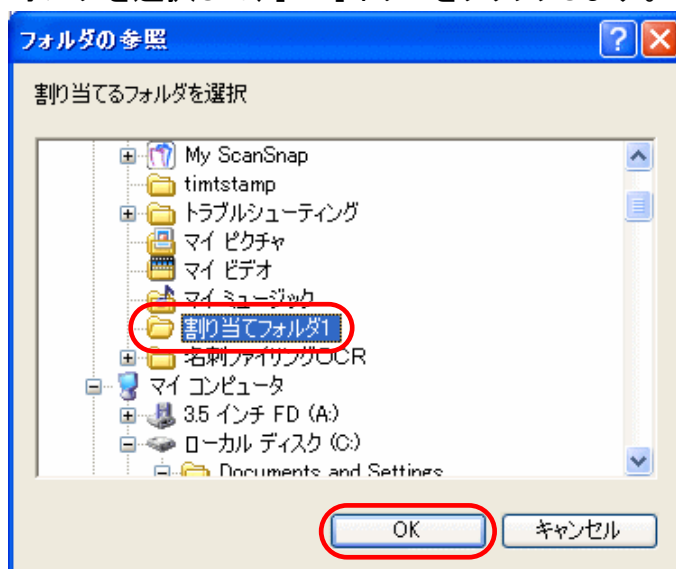
3.6.1. フォルダの割り当て

1. ツールバーの[フォルダの割り当て]ボタン  をクリックします。

[ファイル]メニューから[フォルダの割り当て]を選択することもできます。

⇒ 「フォルダの参照」画面が表示されます。

2. 割り当てるフォルダを選択して、[OK]ボタンをクリックします。



「オプション」→「一般設定」の画面で「My ScanSnap フォルダ」に指定されているフォルダは、指定できません。(19ページ参照)
初期設定は、[マイ ドキュメント]下の[My ScanSnap]フォルダです。

⇒ フォルダ一覧の[My ScanSnap]フォルダ直下に、選択したフォルダが表示され、ScanSnap Organizer でフォルダ内部を閲覧することができます。



3.6.2. 割り当てたフォルダの解除

1. フォルダ一覧から、解除したい割り当てフォルダを選択します。



2. [ファイル]メニューから、「割り当てたフォルダの解除」を選択します。

⇒ フォルダの割り当てが解除されて、フォルダ一覧から消えます。



フォルダの割り当てを解除しても、フォルダ自体は削除されません。

3.7. ファイルをインポートします

ScanSnap Organizer で管理していないフォルダにあるファイルを、[My ScanSnap]フォルダ内のキャビネットまたはフォルダにインポート(コピー)する方法について説明します。

1. フォルダ一覧からインポート先のキャビネットまたはフォルダを選択します。

ここに、ファイルがコピーされます。

2. [ファイル]メニューから、「インポート」を選択します。

⇒ 「ファイルを開く」の画面が表示されます。

3. ファイルを選択して、[開く]ボタンをクリックします。

⇒ ファイルが、操作 1 で選択したキャビネットまたはフォルダにコピーされます。



インポート(コピー)したファイルが、ファイル一覧にすぐに表示されない場合は、[表示]メニューの[最新の情報に更新]を選択してください。

3.8. ファイルをエクスポートします

[My ScanSnap]フォルダ内のファイルを、ScanSnap Organizer で管理していないフォルダにエクスポート(コピー)する方法について説明します。

1. ファイル一覧からエクスポートしたいファイルを選択します。
2. [ファイル]メニューから、「エクスポート」を選択します。
⇒ 「フォルダの参照」の画面が表示されます。
3. ファイルのエクスポート先フォルダを選択して、[OK]ボタンをクリックします。
⇒ 操作1で選択したファイルが、フォルダにコピーされます。




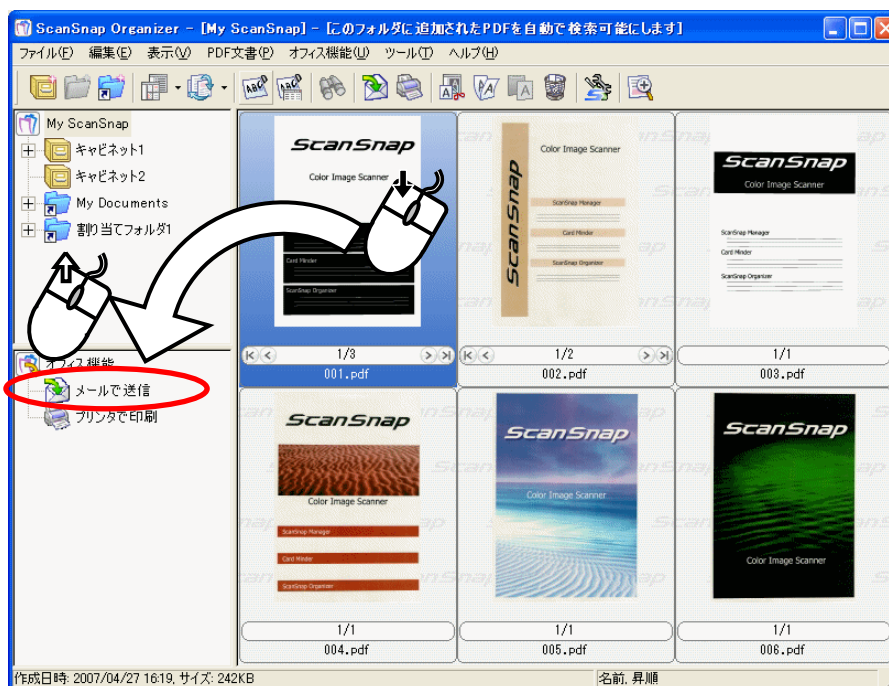
「オプション」→「一般設定」の画面で「My ScanSnap フォルダ」に指定されているフォルダは、指定できません。(19ページ参照)
初期設定は、[マイ ドキュメント]直下の[My ScanSnap]フォルダです。

3.9. ファイルをメールに添付して送ります

選択したファイルを、メールに添付して送信する方法について説明します。

1. ファイル一覧で、メールに添付するファイルを選択します。



2. オフィス機能一覧の「メールで送信」アイコン  に選択したファイルをドラッグ & ドロップします。



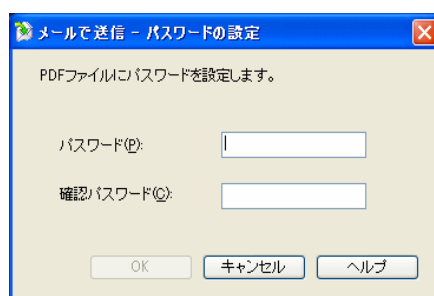
⇒ Internet Explorer に設定されているメールソフトが起動され、選択したファイルがメールに添付されます。



以下の方法でもメールソフトが起動され、選択したファイルがメールに添付されます。

- ツールバーの「メールで送信」ボタン  をクリック
- オフィス機能一覧の「メールで送信」アイコン  をクリック
- 右クリックし、ポップアップメニューから「オフィス機能」→「メールで送信」を選択
- 「オフィス機能」メニューで「メールで送信」を選択

3. 「メールで送信 - パスワードの設定」画面が表示された場合は、パスワードを入力して [OK] ボタンをクリックします。



メールに添付する PDF ファイルに「文書を開くパスワード」を設定したくない場合は、[キャンセル] ボタンをクリックし、次に、「PDF ファイルに「文書を開くパスワード」を付けずに処理を続行しますか？」のメッセージ画面で[はい]ボタンをクリックします。



- 「メールで送信 - パスワードの設定」画面は、[ツール]→「オプション」画面の[メール]タブで「PDF ファイルを添付するときに「文書を開くパスワード」を付ける」チェックボックスをチェックした場合で、パスワード設定可能な PDF を選択した場合にのみ表示されます。
- パスワードが付けられる PDF ファイルは ScanSnap で作成された PDF ファイルのみです。
- すでに「文書を開くパスワード」、電子署名が設定されているファイルを選択しているときは、パスワードは付けられません。

4. 起動されたメールソフトを操作して、メールを送信します。



- 起動するメールソフトは、Internet Explorer の[ツール]メニューにある[インターネットオプション]の[プログラム]タブにある「電子メール」で設定されているアプリケーションです。ここで設定できないメールソフトは起動できません。
なお、動作確認できているメールソフトは以下のとおりです。
 - Microsoft® Windows® Mail (Windows Vista の場合)
 - Microsoft® Outlook® 2003 / 2007
 - Microsoft® Outlook Express 6
 - Netscape Mail 7.1
 - ※ Netscape Mail を起動し、メールが送受信可能な状態で連携してください
 - Becky! Internet Mail Ver.2.26
 - Eudora version 7-J
 - Thunderbird version 1.5.0.9
 - ※ Thunderbird を起動し、メールが送受信可能な状態で連携してください
 - Winbiff version 2.50 PL2
 - ※ Winbiff を起動し、メールが送受信可能な状態で連携してください
- Internet Explorer の[インターネットオプション]の[プログラム]タブにある「電子メール」で設定されているプログラムであっても、正しく連携されないメールソフトがあります。正しく連携されない場合は、お使いのメールソフトの発売元にお問い合わせください。
なお、メールソフトによっては、添付したファイルのサイズが、正しく表示されない場合がありますが、実際に添付したファイルには問題はありません。
- Windows XP (Professional、Home Edition) 環境で、連携メールソフトとして Hotmail を使用した場合、メールの送信に失敗すると選択したファイルの拡張子が変わることが確認されています(拡張子に「^」が付いたものになります)。
本現象は、Windows XP と Hotmail の組み合わせでのみ発生する問題で、エクスプローラ上からメール送信を行った場合でも発生します。
本現象を回避するには、Hotmail 以外の対応確認がされているメールソフトを使用してください(2007年7月現在)。

3.10. 印刷します

選択したファイルを、プリンタを使って印刷する方法について説明します。

印刷パターンは以下の3種類あります。


- サムネイル表示できるファイルのみを印刷する
- サムネイル表示できないファイルを含めて印刷する
- ScanSnap Organizer ビューアからファイルを印刷する

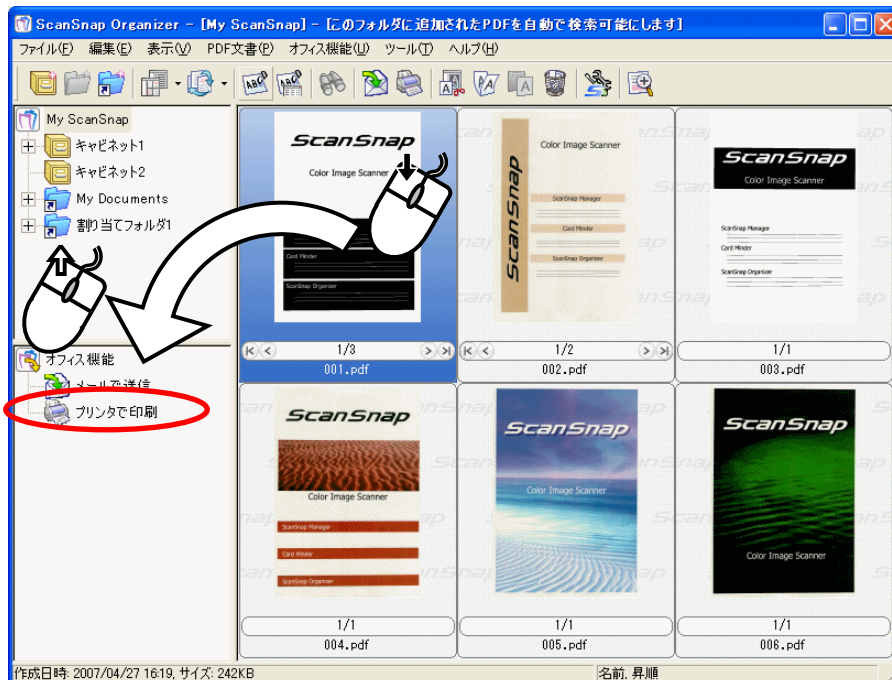


印刷が許可されていない PDF ファイルを選択して印刷する場合、サムネイル表示されていても、サムネイル表示できないファイルの印刷時に表示される画面が表示されます。

3.10.1 サムネイル表示できるファイルのみを印刷する場合

1. ファイル一覧で、印刷するファイルを選択します。



2. オフィス機能一覧の「プリンタで印刷」アイコン  に選択したファイルをドラッグ & ドロップします。



⇒ 「プリンタで印刷」画面が表示されます。



以下の方法でも「プリンタで印刷」画面が表示されます。

- ツールバーの[プリンタで印刷]ボタン  をクリック
- オフィス機能一覧の「プリンタで印刷」アイコン  をクリック
- 右クリックし、ポップアップメニューから[オフィス機能]→[プリンタで印刷]を選択
- [オフィス機能]メニューで[プリンタで印刷]を選択
- [ファイル]メニューで[印刷]を選択



この画面では以下の設定が可能です。

画像表示域

現在選択されているファイルの画像が表示されます。印刷対象外の領域は、網掛けされて表示されます。



: 選択されているファイルの名前が表示されます。ここで、画像表示域に表示するファイルの切り替えができます。



: 先頭ページに移動します。



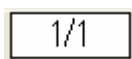
: 前ページに移動します。



: 次ページに移動します。



: 最終ページに移動します。



: 「表示中のページ／総ページ数」が表示されます。
ページを入力すると、指定のページに移動します。



: 表示中の画像を、既定の倍率で拡大または縮小します。

「名前」

コンボボックス右の「▼」マークをクリックして、印刷で使用するプリンタを選択します。

「プロパティ」ボタン

「名前」コンボボックスで選択したプリンタのプロパティを表示します。なお、このボタンをクリックして表示されるプリンタのオプションを変更する画面に、「プリンタで印刷」画面と同様の設定項目がある場合は、「プリンタで印刷」画面での設定内容が優先されます。

「部数」

印刷部数を 1 から 99 の範囲で設定します。

「等倍/縮小」

印刷する画像について、そのままのサイズで印刷するか、出力用紙サイズにあわせて画像を縮小して印刷するかを選択します。

出力用紙サイズに縮小する : 印刷する画像サイズが印刷用紙よりも大きい場合には、印刷用紙に合わせて縮小印刷します。印刷する画像サイズが印刷用紙よりも小さい場合には、等倍(実寸サイズ)で印刷します。

等倍 : 印刷用紙サイズにかかわらず、等倍(実寸サイズ)で印刷します。印刷する画像サイズが印刷用紙よりも大きい場合には、出力用紙からはみ出した画像は印刷されません。

「自動回転する」チェックボックス

チェックすると、イメージデータの縦横の比率に合わせて最適な方向に回転して印刷します。

「用紙中央に印刷する」チェックボックス

用紙より小さいサイズ of 原稿を印刷する場合、チェックすると、出力用紙の中央に印刷します。チェックしないと、左上に印刷します。

「すべて」

すべてのページを印刷の対象にします。

「現在のページ」

ScanSnap Organizer のメイン画面で表示されているページ(「現在のページ」を選択すると画像表示域に表示されるページ)を印刷の対象にします。

「ページ指定」

印刷の対象にするページの範囲を指定します。

[印刷]ボタン

この画面での設定を有効にして印刷します。

[キャンセル]ボタン


この画面での設定と印刷処理が取り消されます。

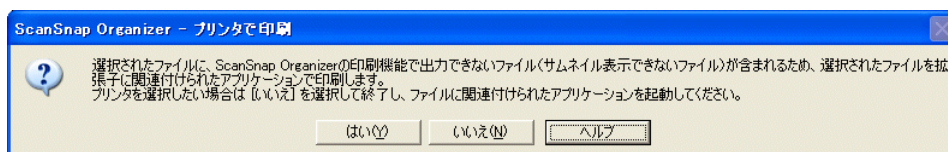


複数の PDF ファイルを選択して印刷する場合、選択した PDF ファイルのすべてのページが印刷の対象になります。



3. [印刷]ボタンをクリックすると、選択したプリンタで印刷が開始されます。
[キャンセル]ボタンをクリックすると印刷処理は取り消されます。

3.10.2 サムネイル表示できないファイルを含めて印刷する場合

1. ファイル一覧で、印刷するファイルを選択します。
2. オフィス機能一覧の「プリンタで印刷」アイコン  に選択したファイルをドラッグ & ドロップします。
⇒ 確認画面が表示されます。



以下の方法でも同じ操作ができます。

- ツールバーの[プリンタで印刷]ボタン  をクリック
- オフィス機能一覧の「プリンタで印刷」アイコン  をクリック
- 右クリックし、ポップアップメニューから[オフィス機能]→[プリンタで印刷]を選択
- [オフィス機能]メニューで[プリンタで印刷]を選択
- [ファイル]メニューで[印刷]を選択

3. [はい] ボタンをクリックすると、印刷が開始されます。印刷は、拡張子に関連付けられたアプリケーションのフォーマットで、通常使うプリンタに設定されているプリンタを使用して行われます。

[いいえ] ボタンをクリックすると、印刷処理は取り消されます。




プリンタについて

サムネイル表示できないファイルを、通常使うプリンタ以外のプリンタで印刷する場合や印刷部数を変更したい場合は、関連付けられたアプリケーションから印刷してください。ファイル一覧でファイルをダブルクリックすると、関連付けされたアプリケーションを起動できません。



- 「文書を開くパスワード」が設定された(サムネイル表示しない)PDF ファイルを印刷するには、関連付けられたアプリケーション(例えば Adobe Acrobat)のパスワード画面で、パスワードを指定する必要があります。
 - 印刷を許可されていない PDF ファイルは、印刷できません。
-

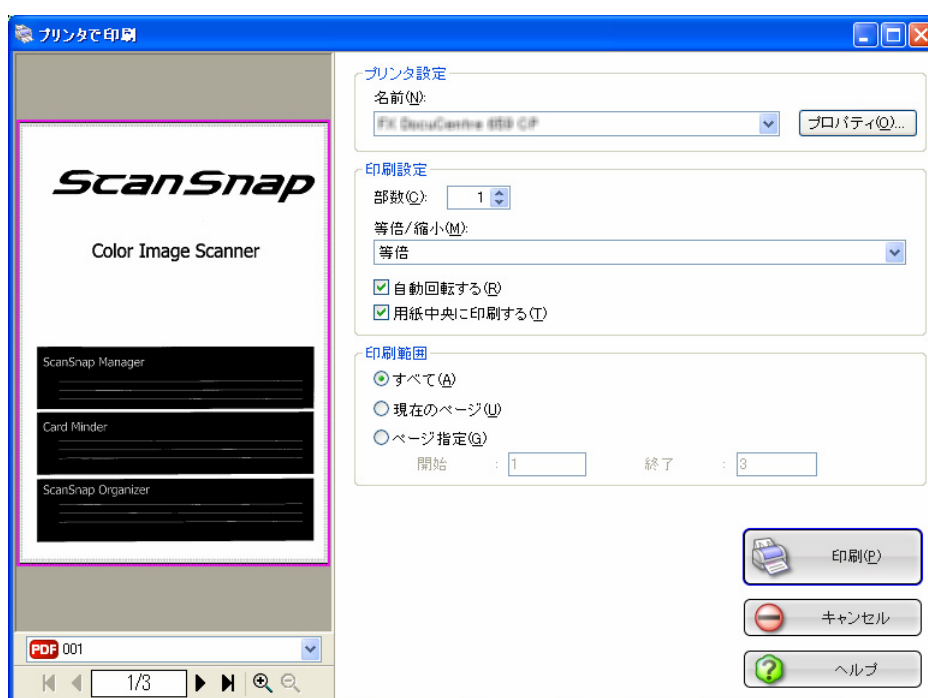
3.10.3 ScanSnap Organizer ビューアからファイルを印刷する場合

1. ScanSnap Organizer ビューアのツールバーの[印刷]ボタン  をクリックします。

⇒ 「プリンタで印刷」画面が表示されます。



[ファイル]メニューで[印刷]を選択しても、「プリンタで印刷」画面が表示されます。



各項目の詳細は、「[3.10.1 サムネイル表示できるファイルのみを印刷する場合](#)」(60ページ)の「プリンタで印刷」画面の説明を参照してください。

2. [印刷]ボタンをクリックすると、選択したプリンタで印刷が開始されます。
[キャンセル]ボタンをクリックすると印刷処理は取り消されます。

3.11. 削除します

不要になったキャビネット、フォルダ、またはファイルを、削除する方法について説明します。

1. 削除したいキャビネット、フォルダ、またはファイルを選択します。

キャビネット、フォルダを削除する場合は、フォルダ一覧で、ファイルを削除する場合は、ファイル一覧で行います。



- ファイルを削除する場合は、[Ctrl]キーまたは[Shift]キーを押しながら選択することによって、複数のファイルを同時に選択することができます。
- キャビネットまたはフォルダを削除すると、その中にあるフォルダやファイルもすべて削除されます。

2. ツールバーの[削除]ボタン をクリックします。

[ファイル]メニューで[削除]を選択し、キャビネット、フォルダ、またはファイルを削除することもできます。

⇒ 「フォルダの削除の確認」、「ファイルの削除の確認」、または「複数ファイルの削除の確認」の画面が表示されます。

3. [はい]ボタンをクリックします。

⇒ 選択したキャビネット、フォルダ、またはファイルが削除されます。

3.12. ファイル名を変更します

選択したファイルの名前を変更する方法について説明します。

1. 名前を変更したいファイルを選択します。

複数のファイルを同時に選択する場合は、[Ctrl]キーまたは[Shift]キーを押しながら選択します。

2. [ファイル]メニューから、「名前の変更」を選択します。

⇒ 「名前の変更」の画面が表示されます。

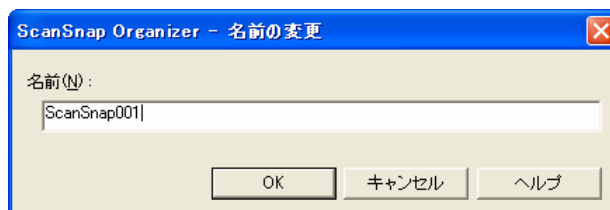


リスト表示時や、サムネイル表示時に[表示]メニューの「ファイル名表示」が有効になっている場合は、ファイルを選択した状態でファイル名をクリックすることによって直接ファイル名を変更することもできます。

3. 新しいファイル名を指定します。

① 1つのファイルを選択した場合

以下の画面でファイル名を指定します。



- 名前:

ファイルの名前を指定します。
ただし、以下の文字は使用できません。
¥ / : * ? “ < > |

- [OK]ボタン

選択したファイルの名前を、指定したファイルの名前に変更します。

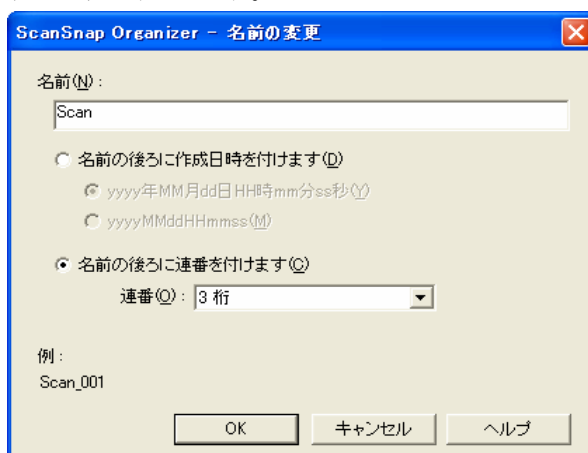
- [キャンセル]ボタン

名前の変更を取り消します。

※フォルダ内に、指定した名前と同名のファイルがすでに存在した場合、エラーになります。

②複数のファイルを選択した場合

以下の画面でファイル名を指定します。



- **名前:**

ファイルの名前を指定します。
ただし、以下の文字は使用できません。
¥ / : * ? “ < > |

- **名前の後ろに作成日時を付けます**

ファイルの名前の後ろに「_(アンダーバー) + ファイルを作成した日時」を付け加えます。

yyyy 年 MM 月 dd 日 HH 時 mm 分 ss 秒

ファイルの名前の後ろに作成日時を「_yyyy 年 MM 月 dd 日 HH 時 mm 分 ss 秒」の形式で付け加えます。

yyyyMMddHHmmss

ファイルの名前の後ろに作成日時を「_yyyyMMddHHmmss」の形式で付け加えます。

※フォルダ内に、指定した名前と同名のファイルがすでに存在した場合、名前の後ろに「_001」からの連番が付けられます。

- **名前の後ろに連番を付けます**

ファイルの名前の後ろに「_(アンダーバー) + 連番」を付け加えます。

連番:

「▼」マークをクリックすることで、連番の一覧を表示できます。

1～6桁の連番を指定することができます。

- **[OK]ボタン**

選択したファイルの名前を、指定したファイルの名前に変更します。

- **[キャンセル]ボタン**

名前の変更を取り消します。

4. [OK]ボタンをクリックします。

⇒ ファイル名が変更されます。

※名前を変更しても、拡張子は変更されません。

3.13. ファイルを編集します

ScanSnap Organizer ビューアを使用して、ScanSnap で読み取ったファイルを編集する方法について説明します。

3.13.1 ファイルを ScanSnap Organizer ビューアで表示します

ScanSnap Organizer ビューアで PDF ファイルおよび JPEG ファイルを表示／編集する場合、以下のいずれかの操作で ScanSnap Organizer ビューアを起動してファイルを表示します。

- ScanSnap Organizer のメイン画面でファイルをダブルクリックします。



[ツール]メニューから「オプション」画面を表示し、[一般設定]タブの「マウス操作」で、「ScanSnap Organizer ビューア」を選択しておく必要があります。

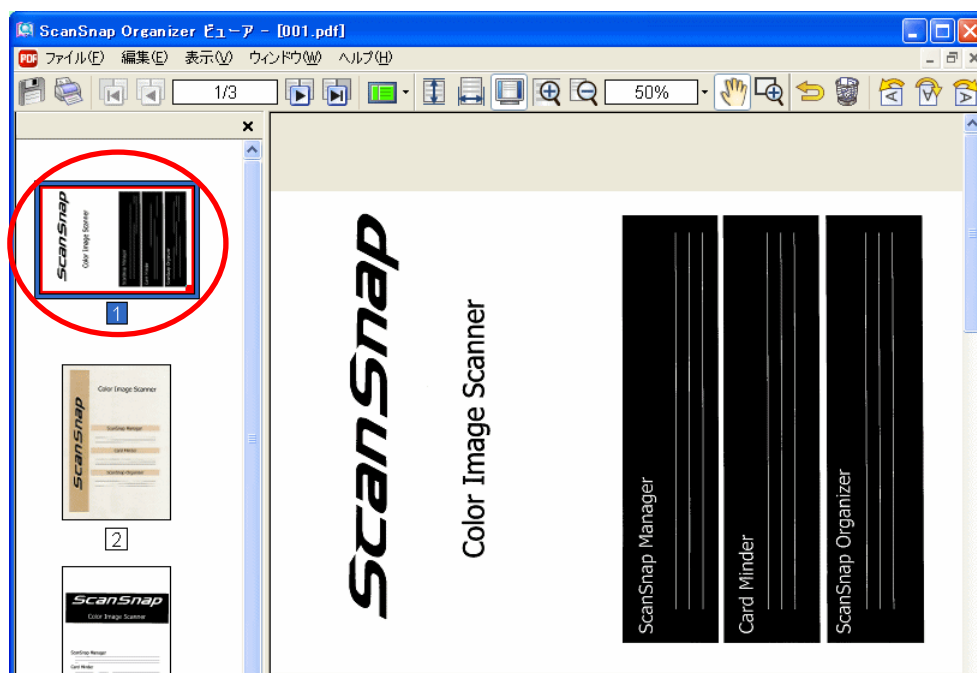
- ScanSnap Organizer でファイルを選択し、[ファイル]メニューから [ScanSnap Organizer ビューア] をクリックします。

3.13.2. ページを回転します


ページの向きが誤って表示されてしまう場合や、任意のページの向きを回転したい場合は、以下の方法で、読み取り後にページを回転してください。

ここでは、ページを右に 90 度回転する場合を例にして説明します。

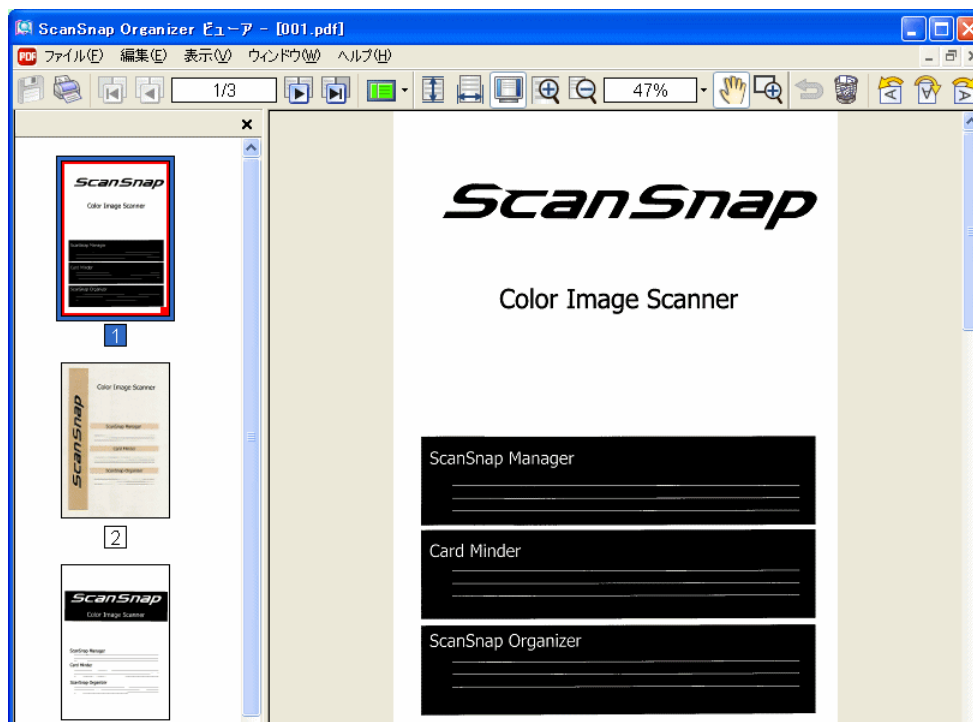
1. 対象となるファイルを、ScanSnap Organizer ビューアで開きます。
2. 回転したいページを選択します。複数選択できます。



3. [編集]メニューから[右 90 度回転]をクリックするか、またはツールバーの[右 90

度回転]ボタン  をクリックします。

⇒ ページが指定した方向に回転されます。



3.13.3. ページを削除します

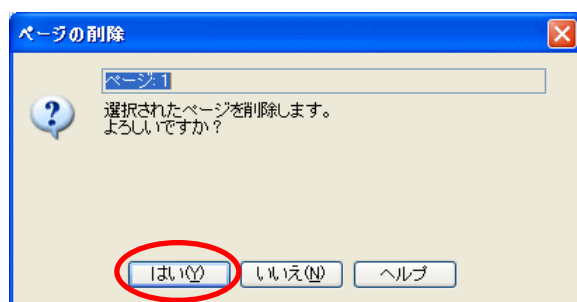
不要なページを取り除きたい場合は、以下の方法でページを削除してください。

1. 対象となるファイルを、ScanSnap Organizer ビューアで開きます。
2. 削除したいページを選択します。複数選択できます。
3. [編集]メニューから[ページの削除]をクリックするか、またはツールバーの[ペー

ジの削除]ボタン  をクリックします。

⇒ 「ページの削除」メッセージが表示されます。

4. [はい]ボタンをクリックします。



⇒ 選択したページが削除されます。


3.13.4. ページを移動します



ページを移動したい場合は、以下の方法でページを移動してください。

1. 対象となるファイルを、ScanSnap Organizer ビューアで開きます。

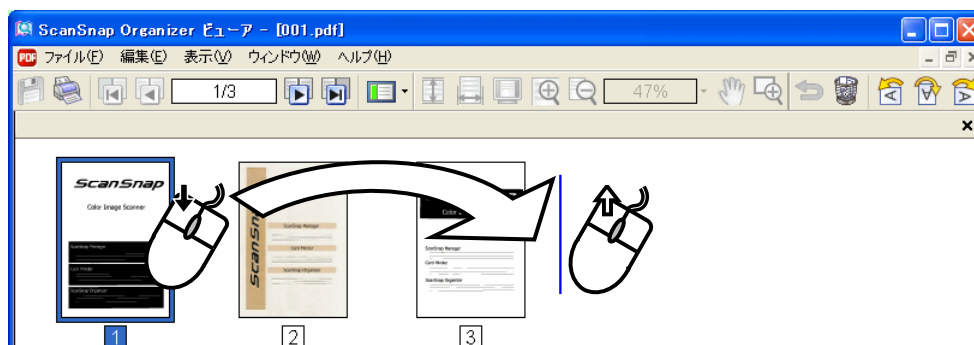


ScanSnap Organizer ビューアにページ一覧が表示されているのを確認してください。

表示されていない場合は、ツールバーの画面モード切替ボタン()で以下のいずれかの画面モードで表示されるようにします。

- すべて表示(ページ一覧とページ表示) ()
- ページ一覧のみ ()

- #### 2. 移動したいページのサムネイルを選択し、移動先までドラッグします。移動先を示す青いバーが表示されたら、ドロップします。
- なお、移動するページは複数選択できます。



⇒ ページが移動し、ページ番号が変更されます。

3.13.5. ページを挿入します

あるファイルに別のファイルからページを挿入するには、以下の2つの方法があります。

- ファイルの全ページを挿入する
- ページを選択して挿入する

ここでは、ページを選択して挿入する場合を例に説明します。



ファイルの全ページを挿入する方法については、ScanSnap Organizer のヘルプを参照してください。


1. 両方のファイルを、ScanSnap Organizer ビューアで開きます。





ScanSnap Organizer ビューアに両方のファイルが並べて表示され、ページ一覧が表示されているのを確認してください。

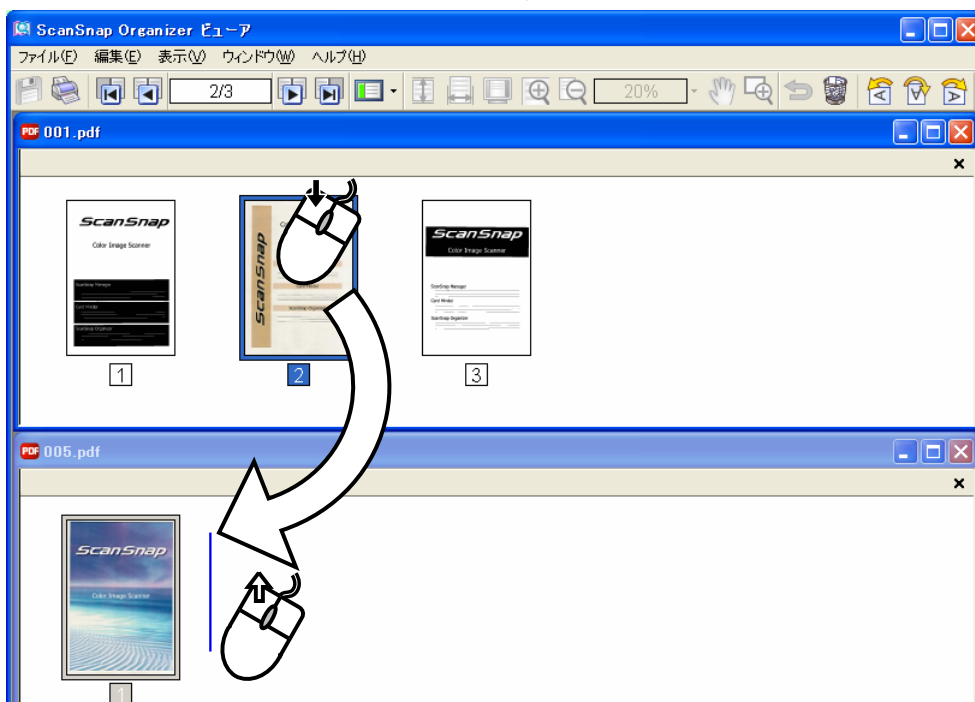
ファイルを並べて表示するには
メニューバーの[ウィンドウ]メニューの[並べて表示]で、表示の仕方を選択して行います。

ページ一覧を表示するには

ツールバーの画面モード切替ボタン()で以下のいずれかの画面モードで表示されるようにします。

- すべて表示(ページ一覧とページ表示) ()
- ページ一覧のみ ()


2. 挿入元ファイルのページ一覧で挿入したいページのサムネイルを選択し、挿入先ファイルのページ一覧ヘドラッグします。挿入先を示す青いバーが表示されたら、ドロップします。なお、挿入するページは複数選択できます。



⇒ 挿入先ファイルに、ドラッグ&ドロップしたページが挿入(コピー)されます。

3.14. ScanSnap の設定画面を表示します

ScanSnap Organizer の画面から、ScanSnap の設定画面を直接呼び出す方法について説明します。

1. ツールバーの[ScanSnap の設定]ボタン  をクリックします。

[ツール]メニューで[ScanSnap の設定]を選択することもできます。

⇒ ScanSnap の設定画面が表示されます。

2. 設定を変更して、[OK]ボタンをクリックします。



⇒ 変更した内容が反映されます。



接続されている ScanSnap の機種によって、表示される設定画面が異なる場合があります。ScanSnap の設定方法については、ScanSnap の「オペレーターガイド」を参照してください。

3.15. アップデートします

ScanSnap Organizerでは、操作性の向上や、機能アップを図るために、適時プログラムのアップデートが行われます。

ScanSnap Organizerの画面から、最新のプログラム(アップデートパック)が公開されているか自動的に確認し、プログラムを更新(アップデート)することができます。



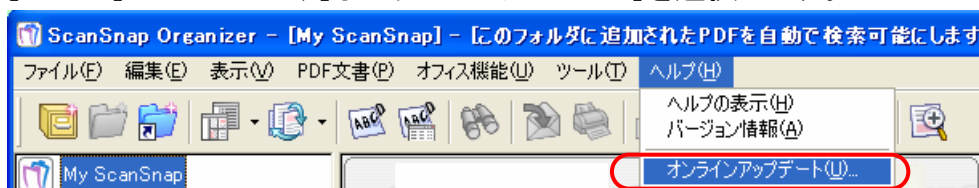
アップデートパックは、事前連絡なしに公開されます。定期的にアップデートすることをお奨めします。

ScanSnap Organizer をアップデートする場合は、以下の操作を行います。



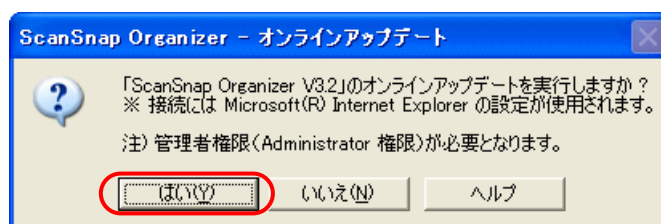
- アップデートするには、インターネットを使用できる環境で、Internet Explorer がインストールされている必要があります。
- 必ず管理者権限 (Administrator 権限) でログオンしてください。

1. [ヘルプ]メニューから、[オンラインアップデート]を選択します。



⇒ ScanSnap Organizer をアップデートするかどうかを確認するメッセージが表示されます。

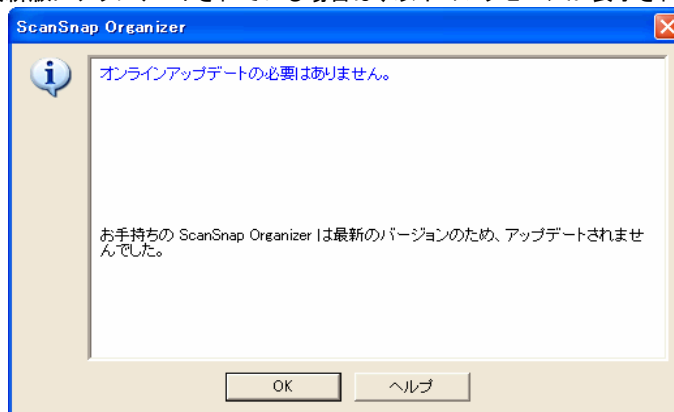
2. [はい]ボタンをクリックします。



⇒ 最新のアップデートプログラムが公開されている場合、プログラムがダウンロードされて、インストールを実行するための確認メッセージが表示されます。

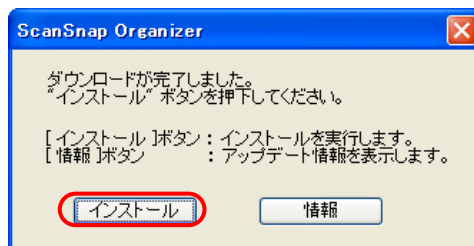


すでに最新版にアップデートされている場合は、以下のメッセージが表示されます。



[OK]ボタンをクリックして、メッセージを閉じてください。

3. [インストール]ボタンをクリックします。



[情報]ボタンをクリックすると、Internet Explorer が起動して、ScanSnap Organizer に関する最新のアップデート情報が表示されます。

⇒ インストールが開始され、「ScanSnap Organizer 用の InstallShield Wizard へようこそ」の画面が表示されます。

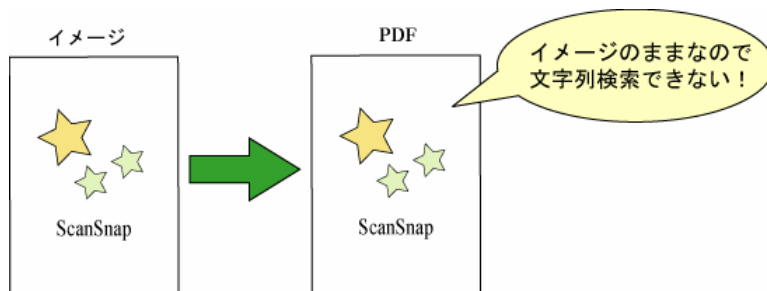
画面の指示に従って、インストールしてください。

付録 1. 検索可能な PDF について

①検索可能な PDF とは

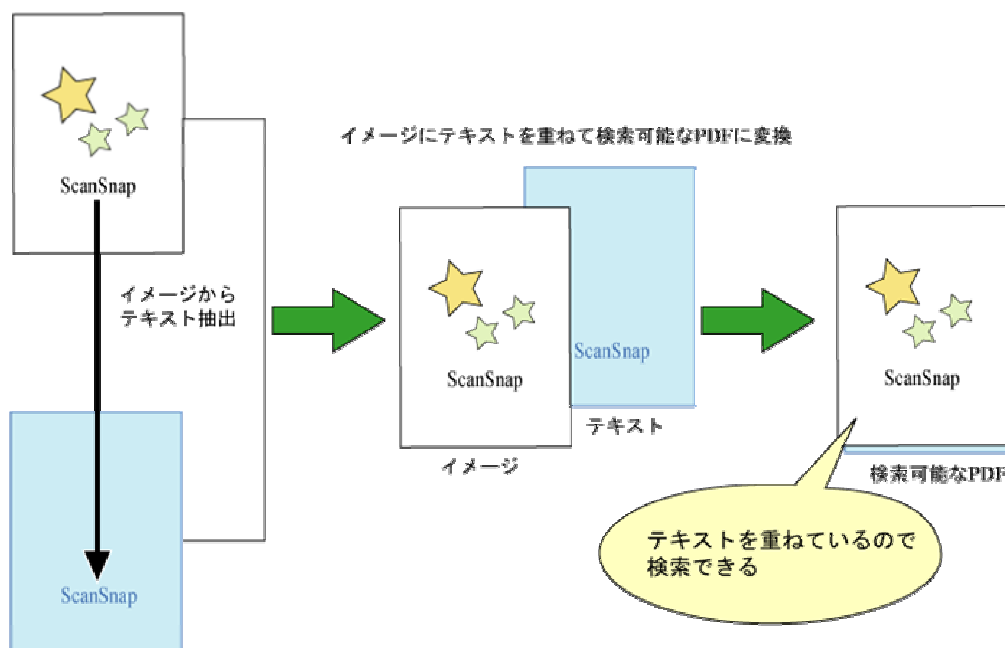
通常、スキャナで紙文書を読み取ってPDFファイルに保存する場合、そこに書かれている文章、写真、グラフなど、すべての情報を1つのイメージとして出力します。

この場合、そこに書かれている文字はイメージであるため、テキストファイルのようにテキスト情報(文字情報)として検索することができません。



そこで、このイメージデータにOCR処理(文字認識)をかけて、文字部分をテキスト情報として取り出し、このイメージデータの後ろに見えない情報として重ねます。この状態でPDFとして出力することによりテキスト情報をもったイメージデータとして保存されます。

この場合、見た目はイメージデータですが、テキスト情報も併せ持つため、テキストファイルと同じように文字検索可能なPDFファイルとなります。



ScanSnap で読み取った PDF ファイルのみ、変換対象となります。

実際に、PDF ファイルから検索可能な PDF ファイルに変換する方法については、「[3.3. 検索可能な PDF に変換します](#)」(40ページ)を参照してください。

②運用について

検索可能な PDF ファイルに変換するには、以下の方法があります。

A. ScanSnap で読み取りを行うと同時に検索可能な PDF ファイルに変換して出力する。

- 設定場所:** ScanSnap Manager の[ファイル形式]タブ
- 対象ページ:** 全ページ、先頭ページ
- 長所:**
- ・ 後で変換処理を行う必要がない。
- 短所:**
- ・ 読み取りに時間がかかる。
 - ・ ファイルごとに設定を変えることができない。
 - ・ 変換対象ページとして任意のページを指定できない。

B. ScanSnap Organizer で自動変換する。

- 設定場所:** ScanSnap Organizer 起動時、または ScanSnap Organizer の[PDF 文書]メニュー→[検索可能な PDF に変換]→[自動変換の設定]
- 対象ページ:** 全ページ
- 長所:**
- ・ すべて自動で行われる。
 - ・ 読み取り時間は遅くならない。
 - ・ コンピュータの空き時間に処理が行われるため、変換処理にかかる時間を意識しないですむ。
- 短所:**
- ・ 変換対象が指定できない。
 - ・ 常に全ページが対象となるため、変換処理に時間がかかる。
 - ・ ファイルごとに設定を変えることができない。

C. ScanSnap Organizer を起動して、ファイルまたはフォルダを選択して変換する。

- 設定場所:** ScanSnap Organizer の[PDF 文書]メニュー→[検索可能な PDF に変換]→[実行]
- 対象ページ:** 全ページ、指定ページ(サムネイル表示時にファイルを選択した場合のみ)
- 長所:**
- ・ 必要なファイルだけを選択して変換することができる。
 - ・ 読み取り時間は遅くならない。
 - ・ 変換するタイミングを指定できる。(今すぐ実行/コンピュータの空き時間に実行)
 - ・ コンピュータの空き時間に処理すれば、変換処理にかかる時間を意識しないですむ。
 - ・ 任意のページを指定して変換することができる。
- 短所:**
- ・ 読み取った後に、別途、変換処理を行う必要がある。



ScanSnap Manager の設定方法については、ScanSnap の「オペレーターガイド」を参照してください。

付録 1. 検索可能な PDF について

それぞれ長所・短所がありますので、以下を参考に使い分けてください。

条 件	推奨変換方法	最終的な PDF の状態
検索可能な PDF ファイルにする必要がない。 ・ テキスト情報のないイメージのみの PDF ファイルしか扱わない場合 ・ ファイルの検索を行わない場合 ・ 検索可能な PDF を使用できないアプリケーションを使用する必要がある場合	なし	検索不可
読み取りに時間がかかってもいいので、読み取った後すぐに、PDF ファイルを検索できるようにしたい。	A.ScanSnap で読み取りを行うと同時に検索可能な PDF ファイルに変換して出力する。	読み取り直後から検索可
PDF ファイルを検索したいが、読み取りは短時間でやりたい。	B.ScanSnap Organizer で自動変換する。	読み取り直後検索不可 変換処理後に検索可
読み取った後に、PDF ファイルを個別に変換したい。	C.ScanSnap Organizer を起動して、ファイルまたはフォルダを選択して変換する。	読み取り直後検索不可 変換処理後に検索可
指定ページのみ検索可能な PDF ファイルにしたい。	A.ScanSnap で読み取りを行うと同時に検索可能な PDF ファイルに変換して出力する。(先頭ページのみ)	読み取り直後から検索可 (先頭ページの文字列による検索)
	C.ScanSnap Organizer を起動して、ファイルまたはフォルダを選択して変換する。(指定ページ)	読み取り直後検索不可 変換処理後に検索可 (指定ページの文字列による検索)
PDF ファイルを検索したいが、変換処理に時間をかけたくない。	A.ScanSnap で読み取りを行うと同時に検索可能な PDF ファイルに変換して出力する。(先頭ページのみ)	読み取り直後から検索可 (先頭ページの文字列による検索)
	C.ScanSnap Organizer を起動して、ファイルまたはフォルダを選択して変換する。(ファイル選択、指定ページ、今すぐ実行)	読み取り直後検索不可 変換処理後に検索可 (指定ページの文字列による検索)

※ 表の推奨変換方法 A, B, C は、前ページの変換方法に対応しています。

お問い合わせについて

当社では、お客様に安心して当社製品をお使いいただけるよう、万全のサポート体制を整えております。

本製品をご使用になって、万が一ご不明な点がございましたら、株式会社 PFU イメージング サービス&サポートセンターまでご連絡ください。

お問い合わせ窓口	
受付窓口	株式会社 PFU イメージング サービス&サポートセンター
E-mail	scanners@pfu.fujitsu.com
電話	0120-37-9089 (携帯電話の場合:042-788-7746)
受付時間	月～金 / 9:00～12:00 13:30～17:00 (土・日・祝祭日・年末年始、当社休業日を除く)
ホームページ	http://scansnap.fujitsu.com/jp/

なお、本内容は、予告なく変更される場合があります。

詳細につきましては、当社ホームページでご確認いただくか、または
PFU イメージング サービス&サポートセンターまでお問い合わせください。

索引

E

e-スキャンの設定	32
e-スキャンボタンの設定	32
e-スキャンモード	32

M

My ScanSnap フォルダ	19
------------------------	----

P

[PDF 自動変換] タブ	20
[PDF 文書] メニュー	13

S

ScanSnap Organizer ビューア	27
ScanSnap と連携	32
ScanSnap の設定	23, 73
ScanSnap フォルダ	3

W

Windows Vista	3, 38, 44, 47
---------------------	---------------

あ

アップデート	74
アップデート情報	75
アプリケーションの終了	10
[一般設定] タブ	19
移動	39
今すぐ実行	13, 42
印刷	10, 28, 30, 60

インポート	10, 56
[ウィンドウ] メニュー	29
上書き保存	30
エクスポート	10, 57
お問い合わせ窓口	79
オフィス機能	26
[オフィス機能] メニュー	18
オプション	19, 20
オンラインアップデート	21

か

回転	31
カギマーク	24, 25
拡大	30
画面モードの切り替え	30
起動	5
キャビネット	10, 36
クイックメニュー	27, 32, 60
原因	48
検索	18, 22, 53
検索可能な PDF	76
検索可能な PDF に自動変換	20, 34
検索可能な PDF に変換	13, 17, 22, 40
検索可能にする PDF ファイルの一覧	15, 22, 45
コピー	11, 22, 39
コンピュータの空き時間に実行	13, 14, 45

さ

最新の情報に更新	12
削除	10, 22, 31, 66
サムネイル	11, 24, 25
サムネイルのサイズ	12

サムネイル表示	8, 12
自動変換	5, 51
終了	28
縮小	30
状態	16, 48
新規作成	10, 36, 37
全体表示	30

た

対象ファイル一覧	16
高さに合わせる	30
ツールバー	22, 30
[ツール] メニュー	19
テキスト情報	41, 76
テキストマーク	24, 25
電子署名マーク	24, 25
動作環境	4
トップサムネイル	24

な

名前の変更	10, 67
-------	--------

は

倍率指定	30
パスワード	25, 40, 59
幅に合わせる	30
左クリックメニューモード	32
[表示] メニュー	11, 29
表示モードの切り替え	22
ファイルの整理	36
ファイルの並べ替え	12, 22

ファイル名表示	11
[ファイル] メニュー	10, 28
フォルダ	10, 36
フォルダの並べ替え	12
フォルダの割り当て	10, 22, 54
プリンタで印刷	22, 60
ページの移動	71
ページの回転	69
ページの削除	70
ページの挿入	72
[ヘルプ] メニュー	21, 29
[編集] メニュー	11, 28
ボタン	22, 30
ポップアップサムネイル表示	11, 23

ま

マウスによる操作	25
メイン画面	7
メールソフト	59
[メール] タブ	21
メールで送信	22, 58

や

読み取り	34
------	----

ら

リスト表示	12
-------	----

わ

割り当てたフォルダの解除	55
--------------	----

ScanSnap Organizer

ユーザーズガイド

P2WW-2301-01Z0

発行日 2007年7月

発行責任 株式会社PFU

- 本書の内容は、改善のため予告なく変更することがあります。
- 本書に記載されたデータの使用に起因する、第三者の特許権およびその他の権利の侵害については、当社は一切その責任を負いません。
- 無断転載を禁じます。